

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(山形市)公共交通活性化協議会

評価対象事業: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山寺観光タクシー株式会社	コミュニティバス高瀬線 ・地域ニーズの把握及び運行内容への反映(市)	<p>【前回の評価結果】 事業実施により運送収入の安定による路線の確保・維持を目指したが新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛などの影響から利用者数が減少したことにより運賃収入が減少したことから、目標を達成できなかった。引き続き利用者のニーズと合った経路等の見直しなどについて地区と意見交換を行う。</p> <p>利用者数 R1.10月～R2.9月: 4,256人 R2.10月～R3.9月: 3,522人(17%減) R3.10月～R4.9月: 3,396人(20%減) R4.10月～R5.9月: 3,153人(25%減)</p> <p>事業の改善点 利用者増による運送収入の増加に向けて、住民や利用者のニーズに合った経路等の見直しなどについて地区と意見交換を行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 沿線地区の住民及び利用者のニーズを把握し、停留所を再設置するなど、利用者のニーズに対応し運行内容を改善した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>コミュニティバス高瀬線(評価 利用者数B、収支率B、負担額B)</p> <p>【目標】年間利用者数: 3,794人以上 収支率: 6.9%以上 市負担額: 432万8千円</p> <p>【実績】年間利用者数: 3,153人 収支率: 5.6% 市負担額: 442万9千円</p> <p>これまで、高瀬地区内の自由乗降区間の延長や下舘ノ木町内への運行ルート変更など、利便性向上に向けて運行の見直しを図ってきたものの、利用者数は減少傾向が続いている。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外出機会の増加が想定されたが、コロナ前の利用者数の水準に戻っていない。地区からは、利用者の高齢化やコロナ禍の生活が定着し外出自粛の意識が依然として強いことが原因として挙げられた。目標達成とはならなかったものの、すべての項目で目標値の8割以上となった。</p>	利用者増による運送収入の増加に向けて、特に新規利用者の掘り起こし・利用促進のための広報や、引き続き利用者のニーズと合った経路等の見直しなどについて地区と意見交換を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交ハイヤー株式会社	スマイルグリーン号 ・利用促進に向けた乗り方教室(大郷明治交通サービス運営協議会(運行主体)、事業者) ・地域ニーズの把握及び運行内容への反映(大郷明治交通サービス運営協議会(運行主体)、市)	【前回の評価結果】 隣接自治体と運行に係る経費を按分して負担しており、運行内容の変更に合わせて負担割合を変更し、山形市の負担割合が増え、目標達成できなかった。引き続き利用者のニーズと合った経路等の見直しなどについて地区と意見交換を行う。 【評価結果の反映状況】 さらに利用者増に向けて、大郷明治交通サービス運営協議会が主体となり、体験乗車会の開催等の利用促進を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	スマイルグリーン号(評価 利用者数A 収支率A 負担額B) 【目標】 年間利用者数:1,717人以上 収支率:6.9%以上 市負担額:291万7千円 【実績】 年間利用者数:2,000人 収支率:10.7% 市負担額:330万9千円 隣接する自治体と運行に係る経費を按分しており、山形市の負担割合が増加し、負担額については目標を達成できなかった。(Aが2つのため総合評価A)	利用者増による運送収入の増加に向けて、スマイルグリーン号については、引き続き利用者のニーズと合った経路等の見直しなどについて地区と意見交換を行う。
山交バス株式会社	山交ビル～関沢線 ・利用促進に向けた路線バスの乗り方教室(市、事業者) ・路線バスへMaaS導入による利便性向上(市、事業者)	【前回の評価結果】 ・MaaSの導入による利便性向上を図る。 【実績】 年間利用者数:52,164人 収支率:80.2% 市負担額:226万円 【評価結果の反映状況】 公共交通利用促進に向けた路線バスの乗り方講座や、やまがたMaaS「らくのる」導入などによる利便性向上の取り組みを行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	○山交ビル～関沢線(評価 利用者数B 収支率B 負担額A) 【目標】 年間利用者数:48,645人以上 収支率:69.2%以上 市負担額:385万5千円 【実績】 年間利用者数:48,100人 収支率:68.1% 市負担額:367万6千円 利用者の減少がみられ利用者数及び収支率はわずかだが目標を下回った。(Bが2つのため総合評価B)	MaaSの拡充による利便性向上や、ICカード利用のメリットの周知、事業者とのバス路線再編の検討等を引き続き行っていく。
山交バス株式会社	山交ビル～新山線 ・利用促進に向けた路線バスの乗り方教室(市、事業者) ・路線バスへMaaS導入による利便性向上(市、事業者)	【前回の評価結果】 ・MaaSの導入による利便性向上を図る。 【実績】 年間利用者数:14,124人 収支率:92.8% 市負担額:6万2千円 【評価結果の反映状況】 公共交通利用促進に向けた路線バスの乗り方講座や、やまがたMaaS「らくのる」導入などによる利便性向上の取り組みを行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	○山交ビル～新山線(評価 利用者数A 収支率B 負担額B) 【目標】 年間利用者数:11,822人以上 収支率:82.1%以上 市負担額:17万3千円 【実績】 年間利用者数:13,988人 収支率:65.9% 市負担額:32万1千円 利用者数は目標値を超えたものの燃料費高騰等による経常費用が増え他項目で目標を下回った。(Bが2つのため総合評価B)	MaaSの拡充による利便性向上や、ICカード利用のメリットの周知、事業者とのバス路線再編の検討等を引き続き行っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス株式会社	<p>山交ビル(県庁)関沢線</p> <p>・利用促進に向けた路線バスの乗り方教室(市、事業者) ・路線バスへMaaS導入による利便性向上(市、事業者)</p>	<p>【前回の評価結果】 ・MaaSの導入による利便性向上を図る。 【実績】年間利用者数:4,660人 収支率:85.7% 市負担額:16万1千円</p> <p>【評価結果の反映状況】 公共交通利用促進に向けた路線バスの乗り方講座や、やまがたMaaS「らくのる」導入などによる利便性向上の取り組みを行った。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>○山交ビル(県庁)関沢線(評価 利用者数B 収支率B 負担額B) 【目標】年間利用者数:4,636人以上 収支率:75.4%以上 市負担額:30万6千円 【実績】年間利用者数:4,385人 収支率:61.6% 市負担額:46万8千円</p> <p>利用者減少がみられ目標を下回った。</p>	<p>MaaSの拡充による利便性向上や、ICカード利用のメリットの周知、事業者とのバス路線再編の検討等を引き続き行っていく。</p>
山交バス株式会社	<p>山交ビル～唐松観音線</p> <p>・利用促進に向けた路線バスの乗り方教室(市、事業者) ・路線バスへMaaS導入による利便性向上(市、事業者)</p>	<p>【前回の評価結果】 ・MaaSの導入による利便性向上を図る。 【実績】年間利用者数:48,267人 収支率:98.6% 市負担額:14万4千円</p> <p>【評価結果の反映状況】 公共交通利用促進に向けた路線バスの乗り方講座や、やまがたMaaS「らくのる」導入などによる利便性向上の取り組みを行った。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>○山交ビル～唐松観音線(評価 利用者数A 収支率A 負担額A) 【目標】年間利用者数:46,066人以上 収支率:84.6%以上 市負担額:175万9千円 【実績】年間利用者数:58,918人 収支率:95.6% 市負担額:52万1千円</p>	<p>MaaSの拡充による利便性向上や、ICカード利用のメリットの周知、事業者とのバス路線再編の検討等を引き続き行っていく。</p>
山交バス株式会社	<p>山交ビル～山寺線</p> <p>・利用促進に向けた路線バスの乗り方教室(市、事業者) ・路線バスへMaaS導入による利便性向上(市、事業者)</p>	<p>【前回の評価結果】 ・MaaSの導入による利便性向上を図る。 【実績】年間利用者数:52,479人 収支率:48.8% 市負担額:756万9千円</p> <p>【評価結果の反映状況】 公共交通利用促進に向けた路線バスの乗り方講座や、やまがたMaaS「らくのる」導入などによる利便性向上の取り組みを行った。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>○山交ビル～山寺線(評価 利用者数A 収支率A 負担額A) 【目標】年間利用者数:47,645人以上 収支率:41.1%以上 市負担額:869万8千円 【実績】年間利用者数:48,134人 収支率:45.2% 市負担額:777万4千円</p> <p>負担額は天童市と按分</p>	<p>MaaSの拡充による利便性向上や、ICカード利用のメリットの周知、事業者とのバス路線再編の検討等を引き続き行っていく。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月 30日

協議会名:	山形県(山形市)公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	地域内交通ネットワークとして位置付けられた交通サービスについて、山形県地域公共交通計画に則り、公共交通が地域の生活の維持と活性化に不可欠であるとの認識に立ち、市町村が主体となって不断の見直しと改善を行いつつ、国・県を含む地域全体の負担により支えられるべきものとして、サービス水準の維持・確保を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(米沢市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■系統名 米沢(南原)白布温泉線 ■運行区間 起点:米沢駅前 経由地:南原 終点:湯元駅前 	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき事業者と協議し、見直しを行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 事業者や地域住民と協議を行いながら、当該路線の利便性向上と地域公共交通の維持確保に向けた取り組みの検討を行った。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 各項目の評価については以下のとおり。 A:達成率100%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満 総合評価については、Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上:C、その他:Bとする。 <ul style="list-style-type: none"> ■年間利用者数 計画:53,000人以上 実績:34,281人 評価:C ■収支率 計画:55%以上 実績:41.4% 評価:C ■米沢市補助額 計画:1,211万5千円 実績:1,984万4千円 評価:C <p>人件費・燃料費の高騰等の要因もあるが、市の補助額を減らすための改善が必要である。</p>	来年度から米沢(備越)小野川線と統合する予定であり、利用者の利便性向上と利用者数の増を目指した改正を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス(株)	<p>■系統名 米沢(備越)小野川線</p> <p>■運行区間 起点:米沢駅前 経由地:備越 終点:駐車場前</p>	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき事業者と協議し、見直しを行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 事業者や地域住民と協議を行いながら、当該路線の利便性向上と地域公共交通の維持確保に向けた取り組みの検討を行った。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>■年間利用者数 計画:31,820人以上 実績:21,254人 評価:C</p> <p>■収支率 計画:72.7%以上 実績:49.1% 評価:C</p> <p>■米沢市補助額 計画:394万8千円 実績:867万2千円 評価:C</p> <p>人件費・燃料費の高騰等の要因もあるが、市の補助額を減らすための改善が必要である。</p>	来年度から米沢(南原)白布温泉線と統合する予定であり、利用者の利便性向上と利用者数の増を目指した改正を行う。
山交バス(株)	<p>■系統名 米沢～上郷線</p> <p>■運行区間 起点:米沢営業所 経由地:市立病院・上郷 終点:長手</p>	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき事業者と協議し、見直しを行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 今後の地域公共交通のあり方を検討するため、該当する地区の住民を対象に、「地域主体による公共交通の進め方」についての勉強会を開催した。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>■年間利用者数 計画:2,580人以上 実績:2,817人 評価:A</p> <p>■収支率 計画:12%以上 実績:13.3% 評価:A</p> <p>■米沢市補助額 計画:500万円 実績:556万8千円 評価:B</p> <p>人件費・燃料費の高騰等の要因もあるが、市の補助額を減らすための改善が必要である。</p>	引き続き、米沢市地域公共交通計画に基づいて、事業者や地域との協議を行い、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス(株)	<p>■系統名 米沢(市立病院)窪田線</p> <p>■運行区間 起点:米沢営業所 経由地:市立病院 終点:外の内</p>	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき事業者と協議し、見直しを行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 今後の地域公共交通のあり方を検討するため、該当する地区の住民を対象に、「地域主体による公共交通の進め方」についての勉強会を開催した。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>■年間利用者数 計画:16,000人以上 実績:10,900人 評価:C</p> <p>■収支率 計画:40%以上 実績:30.1% 評価:C</p> <p>■米沢市補助額 計画:371万5千円 実績:520万3千円 評価:C</p> <p>人件費・燃料費の高騰等の要因もあるが、市の補助額を減らすための改善が必要である。</p>	引き続き、米沢市地域公共交通計画に基づいて、事業者や地域との協議を行い、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。
山交バス(株)	<p>■系統名 米沢(市立病院)糠野目線</p> <p>■運行区間 起点:米沢営業所 経由地:市立病院・窪田 終点:糠野目小学校前</p>	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき事業者と協議し、見直しを行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 今後の地域公共交通のあり方を検討するため、該当する地区の住民を対象に、「地域主体による公共交通の進め方」についての勉強会を開催した。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>■年間利用者数 計画:10,000人以上 実績:7,430人 評価:C</p> <p>■収支率 計画:95%以上 実績:72.0% 評価:C</p> <p>■米沢市補助額 計画:5万円 実績:37万7千円 評価:C</p> <p>人件費・燃料費の高騰等の要因もあるが、市の補助額を減らすための改善が必要である。</p>	引き続き、米沢市地域公共交通計画に基づいて、事業者や地域との協議を行い、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
米沢市	■系統名 万世線 ■運行区間 起点:米沢市役所前 経由地:米沢駅前 終点:米沢スキー場前 ※車両減価償却費等国庫補助金	【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき、地元住民と協議を行いながら、適切に見直しを行い、市街地へのアクセス手段として維持していく。また、令和4年度に当該路線の車両へ沿線地区ゆかりの前田慶次のラッピングを施し、観光客の利用増を目指していく。 【評価結果の反映状況】 事業者や地域住民と協議を行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みの検討を行った。令和4年度に沿線地区ゆかりの前田慶次のラッピングを施した車両を活用し、観光客の利用者増を見込んだダイヤの改正を行った。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	■年間利用者数 計画:25,000人以上 実績:21,216人 評価:B ■収支率 計画:21.5%以上 実績:19.8% 評価:B ■米沢市委託料等 計画:1,722万7千円 実績:1,734万8千円 評価:B 新型コロナウイルスが5類になったことから、回復傾向にある。引き続き、目標の達成に向けた検討を行っていく。	沿線地区の企業協議会と協議を重ねた結果、当該企業の従業員(障がい者)の交通の足を確保するため、来年度から改正を行う。
米沢市	■系統名 万世線 ■運行区間 起点:米沢市役所前 経由地:アルカディア 終点:米沢スキー場前 ※車両減価償却費等国庫補助金		A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。		
米沢市	■系統名 万世線 ■運行区間 起点:米沢市役所前 経由地:米沢駅 終点:福祉の里入口 ※車両減価償却費等国庫補助金		A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。		
米沢市	■系統名 万世線 ■運行区間 起点:米沢市役所前 経由地:アルカディア 終点:福祉の里入口 ※車両減価償却費等国庫補助金		A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。		

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
米沢市	<p>■系統名 市街地循環路線右回り</p> <p>■運行区間 起点:米沢駅前 経由地:市立病院 終点:米沢駅前</p>	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき、当該路線の見直しを行う。具体的には、学生等の通学や市民の日常的な利用などにおいて利用しやすいバスを目指し、パターンダイヤ化の設定や経路、路線名称等の見直しを行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 米沢市地域公共交通計画に基づき、市民の利用しやすいバスを目指すため、パターンダイヤ化の設定や経路の見直しを検討した。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>■年間利用者数 計画:54,000人以上 実績:50,750人 評価:B</p> <p>■収支率 計画:62%以上 実績:67.1% 評価:A</p> <p>■米沢市委託料等 計画:508万8千円 実績:468万9千円 評価:A</p> <p>新型コロナウイルスが5類になったことから、回復傾向にある。 引き続き、目標の達成に向けた検討を行っていく。</p>	来年度から、利用者のわかりやすさの向上を目的としたバス停の統合を行う。
米沢市	<p>■系統名 市街地循環路線左回り</p> <p>■運行区間 起点:米沢駅前 経由地:市立病院 終点:米沢駅前</p>	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき、当該路線の見直しを行う。具体的には、学生等の通学や市民の日常的な利用などにおいて利用しやすいバスを目指し、パターンダイヤ化の設定や経路、路線名称等の見直しを行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 米沢市地域公共交通計画に基づき、市民の利用しやすいバスを目指すため、パターンダイヤ化の設定や経路の見直しを検討した。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>■年間利用者数 計画:47,000人以上 実績:45,742人 評価:B</p> <p>■収支率 計画:58%以上 実績:61.5% 評価:A</p> <p>■米沢市補助額 計画:596万3千円 実績:590万円 評価:A</p> <p>新型コロナウイルスが5類になったことから、回復傾向にある。 引き続き、目標の達成に向けた検討を行っていく。</p>	来年度から、利用者のわかりやすさの向上を目的としたバス停の統合を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株)	<p>■系統名 米沢市街地循環バス南回り 路線</p> <p>■運行区間 起点:米沢駅前 経由地:栄養大 終点:米沢駅前</p>	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき、当該路線の見直しを行う。特に学生等の通学や生活の足として利便性の高い経路への見直しを行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 事業者と協議を行い、学生等の通学や生活の足として利便性の高い経路への見直しを検討した。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>■年間利用者数 計画:28,000人以上 実績:28,306人 評価:A</p> <p>■収支率 計画:26.5%以上 実績:44.4% 評価:A</p> <p>■米沢市補助額 計画:1,440万円 実績:1,404万1千円 評価:A</p> <p>短大・大学生向けに交通系ICカードを配布したこともあり、利用者が大きく伸びたため、ほぼ目標を達成することができた。</p>	来年度から、学生等の通学や生活の足として利便性の高い経路へ大幅な見直しを行う。
(有)今村タクシー、(株)吾妻観光タクシー、辻自動車(株)、米沢タクシー(株)、米沢酒類販売(株)	<p>■系統名 山上地区乗合タクシー</p> <p>■運行区間 経由地:山上地区</p>	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき見直しを行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 地域と協議を行い、利便性の高いダイヤに改正した。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>■年間利用者数 計画:5,000人以上 実績:4,055人 評価:B</p> <p>■収支率 計画:25%以上 実績:18.5% 評価:C</p> <p>■米沢市負担額 計画:600万円 実績:889万2千円 評価:C</p> <p>市の負担額を減らしていくため、1台当たりの乗合率(約1.71人)を改善していく必要がある。</p>	引き続き、米沢市地域公共交通計画に基づいて、事業者や地域との協議を行い、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)今村タクシー、(株)吾妻観光タクシー、辻自動車(株)、米沢タクシー(株)、米沢酒類販売(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■系統名 田沢地区乗合タクシー ■運行区間 経由地: 田沢地区 	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき見直しを行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利便性向上と維持確保に向けた検討を行った。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> ■年間利用者数 計画: 1,600人以上 実績: 2,478人 評価: A ■収支率 計画: 30%以上 実績: 19.5% 評価: C ■米沢市負担額 計画: 250万円 実績: 325万6千円 評価: C <p>市の負担額を減らしていくため、1台当たりの乗合率(約1.80人)を改善していく必要がある。</p>	引き続き、米沢市地域公共交通計画に基づいて、事業者や地域との協議を行い、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。
(有)今村タクシー、(株)吾妻観光タクシー、辻自動車(株)、米沢タクシー(株)、米沢酒類販売(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■系統名 広幡地区乗合タクシー ■運行区間 経由地: 広幡地区 	<p>【前回の評価結果】 米沢市地域公共交通計画に基づき見直しを行いながら、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利便性向上と維持確保に向けた検討を行った。</p>	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> ■年間利用者数 計画: 800人以上 実績: 874人 評価: A ■収支率 計画: 14%以上 実績: 15.9% 評価: A ■米沢市補助額 計画: 150万円 実績: 228万4千円 評価: C <p>市の負担額を減らしていくため、1台当たりの乗合率(約1.22人)を改善していく必要がある。</p>	引き続き、米沢市地域公共交通計画に基づいて、事業者や地域との協議を行い、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)今村タクシー、(株)吾妻観光タクシー、辻自動車(株)、米沢タクシー(株)、米沢酒類販売(株)	■系統名 六郷地区乗合タクシー ■運行区間 経由地:六郷地区	【前回の評価結果】 令和5年度からの新規補助対象系統のため、前回事業評価なし。 【評価結果の反映状況】	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A ■年間利用者数 計画:800人以上 実績:219人 評価:C ■収支率 計画:14%以上 実績:17.1% 評価:A ■米沢市補助額 計画:150万円 実績:57万8千円 評価:A 年度途中(R5.4~)の運行のため利用者数などが少なくなっている。	引き続き、米沢市地域公共交通計画に基づいて、事業者や地域との協議を行い、公共交通の利便性向上と維持確保に向けた取り組みを実施していく。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(米沢市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市は山形県南部に位置し、福島県と県境を接しています。人口は78,232人(推計人口:2023年11月時点)です。市内の公共交通は民間事業者が運行する鉄道や路線バス、高速バス、タクシーなどのほか、市が運行する市民バスや乗合タクシーなどがあり、市民の日常生活の移動手段としての役割を担っています。しかし、人口減少の進展のほか、少子化による通学移動の減少、マイカー文化の進展などさまざまな要因を背景にして、公共交通の利用者が減少傾向にあります。</p> <p>こうした状況を踏まえ、本市では令和3年度に「米沢市地域公共交通計画」を策定し、市内の公共交通の見直しを図っており、本市の公共交通が目指すべき姿として、「多様な世代・主体の活発な交流を“促し”、日々の活動に“選ばれる”公共交通」を掲げています。</p> <p>当該事業を実施することで、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)路線を維持され、移動弱者の日常生活に必要不可欠な移動手段を確保し、また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できます。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 6年 1月 30日

協議会名: 山形県(鶴岡市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>庄内交通株式会社 17系統</p> <p>1. 鶴岡大鳥線 2. 鶴岡上田沢線 3. 鶴岡大綱線 4. 鶴岡ゆ～town線 5. 鶴岡(湯田川)越沢線 (減価償却費等国庫補助対象) 6. 鶴岡(物産館)温海線 7. 鶴岡(藤島駅前)清川線 8. 鶴岡(湯田川)坂の下線 9. 鶴岡(稲生)湯田川線 10. ころの医療センター(稲生)湯田川線 11. 鶴岡(物産館・加茂水族館)湯野浜線 (減価償却費等国庫補助対象) 12. 鶴岡(物産館・善宝寺)湯野浜線 13. 鶴岡(山添)落合線 14. 鶴岡中央高校線 15. いでは文化記念館羽黒山頂線 16. 鶴岡市内循環Aコース (減価償却費等国庫補助対象) 17. 鶴岡市内循環Bコース (減価償却費等国庫補助対象) 18. 鶴岡市内循環Cコース (減価償却費等国庫補助対象)</p> <p>□バス車両購入系統 ・鶴岡(湯田川)越沢線 1台 ・鶴岡(物産館・加茂水族館)湯野浜線 1台 ・鶴岡市内循環線 8台 計10台</p>	<p>・公共交通ネットワークについて地域や交通事業者及び行政など地域ぐるみで検討し、利便性の高い交通網の再編実施と運賃割引制度の拡充により利用拡大を図る。(住民・鶴岡市・交通事業者)</p> <p>・公共交通をより分かりやすく利用できるように、各種サービス周知用チラシの配布やICTの活用によるバスロケなど、地域公共交通の情報を広報紙やホームページなどで分かりやすく発信する。(鶴岡市・交通事業者)</p> <p>・公共施設をはじめ観光、商業施設との連携により、公共交通による地域活性化を図る。(鶴岡市・交通事業者)</p> <p>・公共交通をより身近に感じるイベントの実施により、公共交通に対する市民意識の醸成を図ることで利用者の増加をめざす。(鶴岡市・交通事業者)</p> <p>・地域単位の公共交通運営団体等を設立し、公共交通を取り巻く現状と課題を共有すると共に、マイバス意識の醸成を図り、身近な移動手段の維持、確保、改善に向けた取り組みを地域ぐるみで実施する。(住民・鶴岡市・交通事業者)</p>	<p>【前回の評価結果】 地域住民が利用しやすい環境を整えるための購入補助や、県全体での地域連携ICカード導入に伴う情報発信や利用促進を実施した。また、利用者の現状を踏まえた路線の再編・廃止を実施し、効率の良い運行を目指した。 市内循環線の再編について交通事業者と連携しながら協議し、令和4年10月から運行を開始しているが、高校生等の利用増加のため、運行時間帯やルートの検討を継続する。 コロナ禍からの脱却が進んでいるものの、出控えによって減少した利用者が目標を達成することができなかった。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者数増加のため、例年に引き続き交通事業者と市が連携し、乗り方教室や各種割引制度を実施した。 特に市内循環線の再編に伴い、乗り方教室の開催依頼や高齢者向け割引定期券の購入者が増加するなど、路線バス利用に対する住民意識が向上したと考えられる。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【利用者数】[実績値、達成率] ※目標値は全線走行キロあたり0.55 1. 鶴岡大鳥線 0.382人/km、69.4%、C 2. 鶴岡上田沢線 0.426人/km、77.5%、C 3. 鶴岡大綱線 0.457人/km、83.2%、B 4. 鶴岡ゆ～town線 0.288人/km、52.4%、C 5. 鶴岡(湯田川)越沢線 0.505人/km、91.9%、B 6. 鶴岡(物産館)温海線 0.482人/km、87.6%、B 7. 鶴岡(藤島駅前)清川線 0.194人/km、35.2%、C 8. 鶴岡(湯田川)坂の下線 0.614人/km、111.6%、A 9. 鶴岡(稲生)湯田川線 0.873人/km、158.7%、A 10. ころの医療センター(稲生)湯田川線 0.529人/km、96.1%、B 11. 鶴岡(物産館・加茂水族館)湯野浜線 0.738人/km、134.2%、A 12. 鶴岡(物産館・善宝寺)湯野浜線 0.628人/km、114.1%、A 13. 鶴岡(山添)落合線 0.394人/km、71.6%、C 14. 鶴岡中央高校線 0.682人/km、123.9%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) 15. いでは文化記念館羽黒山頂線 0.682人/km、123.9%、A 16. 鶴岡市内循環Aコース 0.245人/km、44.6%、C 17. 鶴岡市内循環Bコース 0.318人/km、57.8%、C 18. 鶴岡市内循環Cコース 0.275人/km、50.0%、C</p> <p>【収支率】[実績値、達成率] ※目標値は全路線45% 1. 鶴岡大鳥線 19.5%、43.3%、C 2. 鶴岡上田沢線 19.2、42.6%、C 3. 鶴岡大綱線 17.8%、39.5%、C 4. 鶴岡ゆ～town線 13.4%、29.9%、C 5. 鶴岡(湯田川)越沢線 30.4%、67.6%、C 6. 鶴岡(物産館)温海線 27.2%、60.5%、C 7. 鶴岡(藤島駅前)清川線 13.0%、28.9%、C 8. 鶴岡(湯田川)坂の下線 45.1%、100.3%、A 9. 鶴岡(稲生)湯田川線 80.2%、178.1%、A 10. ころの医療センター(稲生)湯田川線 33.6%、74.7%、C 11. 鶴岡(物産館・加茂水族館)湯野浜線 61.9%、137.6%、A 12. 鶴岡(物産館・善宝寺)湯野浜線 47.0%、104.5%、A 13. 鶴岡(山添)落合線 15.3%、34.1%、C 14. 鶴岡中央高校線 31.1%、69.1%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) 15. いでは文化記念館羽黒山頂線 54.3%、120.7%、A 16. 鶴岡市内循環Aコース 22.2%、49.2%、C 17. 鶴岡市内循環Bコース 30.4%、67.7%、C 18. 鶴岡市内循環Cコース 22.7%、50.5%、C</p>	<p>観光需要の回復に合わせ、観光地を結ぶ路線の情報周知をさらに進める必要がある。 また、ICカードについては地域に浸透しつつあると考えられるが、バスロケーションシステムが利用可能であることや、地図アプリ等での検索が可能となっていることなど、利便性が向上しているものの、認知度が低いため、さらなる情報発信を実施する必要がある。 令和4年10月1日より、市内循環線の再編を実施し、市街地内の移動の利便性を向上させている。再編にあたっては、バス事業者と行政が連携し、ルートや停留所位置、時間帯等を検討している。今後も利用実態やニーズに合わせ、路線の見直しを継続していく必要がある。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
				<p>【公的資金投入額】実績値、達成率 ※目標値は全路線350円</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鶴岡大島線 692円、50.6%、C 2. 鶴岡上田沢線 622円、56.3%、C 3. 鶴岡大網線 588円、59.5%、C 4. 鶴岡ゆ～town線 980円、35.7%、C 5. 鶴岡(湯田川)越沢線 452円、77.4%、C 6. 鶴岡(物産館)温海線 495円、70.7%、C 7. 鶴岡(藤島駅前)清川線 593円、59.0%、C 8. 鶴岡(湯田川)坂の下線 298円、117.6%、A 9. 鶴岡(稲生)湯田川線 85円、413.6%、A 10. ころの医療センター(稲生)湯田川線 413円、84.8%、C 11. 鶴岡(物産館・加茂水族館)湯野浜線 177円、197.7%、A 12. 鶴岡(物産館・善宝寺)湯野浜線 282円、124.2%、A 13. 鶴岡(山添)落合線 699円、50.1%、C 14. 鶴岡中央高校線 50円、700%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) 15. いでは文化記念館羽黒山頂線 226円、154.7%、A 16. 鶴岡市内循環Aコース 517円、67.7%、C 17. 鶴岡市内循環Bコース 346円、101.2%、A 18. 鶴岡市内循環Cコース 456円、76.7%、C <p>新型コロナウイルス感染症流行により減少した利用者が回復しきれていないことや市全体の人口減少により利用者が増加していない。</p> <p>高齢者向けの定期券の購入者増加等により、多くの路線で利用者の目標を達成しているものの、収支率と公的資金投入額については、達成できていない路線が多く、以上の利用促進策の推進が必要となる。</p>	
<p>鶴岡市 4系統 19. 羽黒地域市営バス 上川代・小増川線 20. 羽黒地域市営バス 上川代・小増川線 21. 羽黒地域市営バス 今野線 22. 羽黒地域市営バス 今野線</p>	<p>・公共交通ネットワークについて地域ぐるみで検討し、利便性の高い交通網の再編実施と運賃割引制度の拡充により利用拡大を図る。(住民・鶴岡市)</p> <p>・公共交通をより分かりやすく利用できるように、各種サービス周知用チラシの配布など、地域公共交通の情報を広報紙やホームページなどで分かりやすく発信する。(鶴岡市)</p> <p>・沿線住民を中心とした利用拡大協議会を組織し、公共交通を取り巻く現状と課題を共有すると共に、マイバス意識の醸成を図り、身近な移動手段の維持、確保、改善に向けた取り組みを地域ぐるみで実施する。(住民・鶴岡市)</p>	<p>【前回の評価結果】 コロナ禍からの脱却が進んでいるものの、出控えによって減少した利用者が目標を達成することができなかった。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者増加のため、例年に引き続き民間路線バスへの乗換拠点となっている温泉施設とのタイアップ企画を実施している。 沿線住民で構成される利用拡大協議会においても、自治会が独自に実施している利用促進策を紹介するなど、優良事例の共有を実施している。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【利用者数】実績値、達成率 ※目標値は全線走行キロあたり0.55</p> <ol style="list-style-type: none"> 19. 上川代・小増川線 0.046人/km、8.3%、C 20. 上川代・小増川線 0.008人/km、1.4%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) 21. 今野線 0.09人、16.5%、C 22. 今野線 0.053人/km、9.7%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) <p>【収支率】実績値、達成率 ※目標値は全路線45%</p> <ol style="list-style-type: none"> 19. 上川代・小増川線 3.8%、8.4%、C 20. 上川代・小増川線 0.6%、1.3%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) 21. 今野線 5.6%、12.4%、C 22. 今野線 3.3%、7.3%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) <p>【公的資金投入額】実績値、達成率 ※目標値は全路線350円</p> <ol style="list-style-type: none"> 19. 上川代・小増川線 5,544円、6.3%、C 20. 上川代・小増川線 34,450円、1.0%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) 21. 今野線 2,746円、12.7%、C 22. 今野線 4,784円、7.3%、C(往復1運行当たり輸送人員2人未満のため、補助対象外) <p>利用者の減少により民間バス路線が撤退した地域において、住民の足を確保するために導入された路線であることから、利用者数が少なく、収支率や公的資金投入額の目標も大きく下回っている。</p>	<p>利用者増加を図るため、地域住民を巻き込んだ利用拡大策の推進を加速化させる必要がある。また、利用実態やニーズに基づいたダイヤ等を検討することで、利便性と効率性の両立を目指す必要がある。この運行方法が地域の実状にあった形であるかどうか。検討が必要となる。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
庄交ハイヤー株式会社 1系統 23. 藤島東栄地区デマ ンド交通	<p>・公共交通をより分かりやすく利用できるように、各種サービス周知用チラシの配布など、地域公共交通の情報を広報紙やホームページなどで分かりやすく発信する。(鶴岡市)</p> <p>・運行エリア住民の中心した運営協議会を組織し、デマンド交通の現状と課題を共有しつつ、効率性と利便性の両立を目指す。(住民・鶴岡市)</p>	<p>【前回の評価結果】 コロナ禍からの脱却が進んでいるものの、出控えによって減少した利用者が目標を達成することができなかった。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者増加のため、新たな利用者層である高校生の通学利用での活用を進めている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【利用者数】[目標値、実績値、達成率] 23. 藤島東栄地区デマンド交通 0.55人/km、0.263人/km、47.8%、C</p> <p>【収支率】[実績値、達成率] ※目標値は全路線45% 23. 藤島東栄地区デマンド交通 17.5%、38.9%、C</p> <p>【公的資金投入額】[実績値、達成率] ※目標値は全路線350円 23. 藤島東栄地区デマンド交通 2,082円、16.8%、C</p> <p>利用者の減少により民間バス路線が撤退した地域において、住民の足を確保するために導入された交通機関であり、運行開始から10年以上経過しており、地域に定着している。 一方で、利用者数の減少や、1台当たりの乗車人数の減少により、輸送効率が落ちてきている。</p>	人口減少と自家用車依存の進行により、利用者数が減少傾向にあるため、新たな需要を発掘が必要となっており、現在高校生の通学利用を推進している。今後、高齢者や通学利用者のみならず、高齢者の家族等にも事業を周知することで、利用者の増加を図る必要がある。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月 30日

協議会名:	山形県(鶴岡市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>鶴岡市は平成17年10月に1市4町1村が広域合併し、東西約43キロメートル、南北約56キロメートルの東北一の面積(約1,311平方キロメートル)を有する市となり、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域(みなし過疎市町村)の指定を受けている交通不便地域である。</p> <p>本市の地域公共交通には、鉄道、路線バス、タクシーがあり、通勤、通学、通院、買い物等を主な目的とする市民生活の足として重要な役割を果たしているが、自家用車の普及、少子化、人口減少等社会情勢の変化に伴い、公共交通の利用者は年々減少傾向にあるため、収益が悪化し公共交通の維持が困難となり、路線バスの減便や廃止が進んでいる状況にある。</p> <p>一方で、高齢者や学生をはじめ自動車等の移動手段を持たない住民にとって、公共交通は安心して日常生活をおくる上で重要な役割を担っている。</p> <p>また、公的医療機関、公立学校、その他公共施設、商業施設などの都市機能が集積している中心市街地への周辺部からの交通手段の確保が重要性を増している。</p> <p>こうしたことから、地域特性や実情に応じた市民の日常生活にとって最適で安全な地域公共交通ネットワークを充実するためには、基軸となる地域間幹線バスや鉄道と密接なフィーダー系統の確保・維持が必要不可欠であることから本事業を実施しているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(酒田市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
酒田市	<p>【るんるんバス】</p> <p>市内循環A線 市内循環B線 市内循環C線 市内循環D線 酒田駅大学線①②③④⑤⑥ 古湊アイアイひらた線</p> <p>※ 車両減価償却費等国庫補助金を受けている</p>	<p>【前回の評価結果】 前回実施の評価は次のとおり。 利用者数は、全路線の合計として目標値を上回った。利用者からは、運行経路が便利になったという声や、グランドオープンした酒田駅前の再開発施設への往来に利用したとの声が聞かれた。運行日の拡充、運行経路を拡大した路線でも利用者数が増加している。 収入・経費ともに増加したが、経費の増加が大きく、収支率は目標値に至らなかった。また、市負担額の達成率は低い結果となった。特に、新しい運行内容に切り替えるためのバス停や車内設備等の準備に要する一時的な経費が大きく影響した。 なお、各路線の経費・収入は距離按分で算出している。</p> <p>【評価結果の反映状況】 前回の評価時は、今後の改善点として、新しい運行内容が広く認知されて乗車機会が増加するよう周知啓発を行うこととしており、その際の想定事例として、利用実績などのチラシ作成とバス車内での掲示、目的地別バスマップ等の作成と観光案内所での配布、パーソナル時刻表の作成サービスを挙げていた。 令和4年10月から令和5年9月までの期間における実績として、公共交通アンケートの実施、るんるんバスの利用を促す観光まちあるきマップの試作、パーソナル時刻表の作成サービスを行っている。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【利用者数】[目標値、実績値、達成率] 市内循環A線 30,582人、33,868人、110.7%:A 市内循環B線 31,182人、32,617人、104.6%:A 市内循環C線 3,993人、5,825人、145.9%:A 市内循環D線 3,993人、5,956人、149.2%:A 酒田駅大学線① 17,606人、30,763人、174.7%:A 酒田駅大学線② 5,869人、8,721人、148.6%:A 酒田駅大学線③ 3,912人、7,610人、194.5%:A 酒田駅大学線④ 3,912人、2,668人、68.2%:C 酒田駅大学線⑤ 3,912人、3,830人、97.9%:B 酒田駅大学線⑥ 1,956人、1,265人、64.7%:C 古湊アイアイひらた線市内循環A線 9,166人、9,733人、106.2%:A</p> <p>【収支率】[目標値、実績値、達成率] 市内循環A線 32.5%、34.8%、107.1%:A 市内循環B線 32.7%、32.6%、99.7%:B 市内循環C線 10.5%、16.4%、156.2%:A 市内循環D線 10.3%、16.4%、159.2%:A 酒田駅大学線① 15.5%、26.1%、168.4%:A 酒田駅大学線② 19.1%、26.1%、136.6%:A 酒田駅大学線③ 13.9%、26.1%、187.8%:A 酒田駅大学線④ 40.2%、26.1%、64.9%:C 酒田駅大学線⑤ 27.8%、26.1%、93.9%:B 酒田駅大学線⑥ 42.4%、26.1%、61.6%:C 古湊アイアイひらた線 15.2%、17.3%、113.8%:A</p> <p>【市負担額】[目標値、実績値、達成率] 市内循環A線 11,092千円、10,867千円、102.1%:A 市内循環B線 11,222千円、11,388千円、98.5%:B 市内循環C線 5,956千円、5,658千円、105.3%:A 市内循環D線 6,046千円、5,784千円、104.5%:A 酒田駅大学線① 16,744千円、14,832千円、112.9%:A 酒田駅大学線② 4,341千円、4,205千円、103.2%:A 酒田駅大学線③ 4,235千円、3,669千円、115.4%:A 酒田駅大学線④ 1,016千円、1,286千円、79.0%:C 酒田駅大学線⑤ 1,776千円、1,847千円、96.2%:B 酒田駅大学線⑥ 463千円、610千円、75.9%:C 古湊アイアイひらた線 8,900千円、8,944千円、99.5%:B</p> <p>【利用者数】は、全路線の合計として目標値を上回った。各系統別で見ても、酒田駅大学線の一部系統のみ目標値を下回ったが、各系統を合計した実績は目標値を上回っている。令和4年8月に変更した運行内容が地域住民等に認知されてきており、利用促進の活動が一定の効果を発揮している。</p> <p>【収支率】【市負担額】も同様であり、全路線の合計はそれぞれの目標を上回っている。効率的なバス路線となるよう運行経路や時刻を見直したこと、また、利用者数の増加に伴う収入の増加により、収支率や市負担額が改善傾向にある(各路線、系統ごとの経費や収入の実績は、距離按分で算出している)。</p> <p>主として車両減価償却費等国庫補助金を受けた車両が担当する市内循環C線、D線では、利用者ニーズを取り入れた運行経路への変更及び運行日の拡充によって利便性が向上している。利用者からは、新しい車両が大変快適で心地よく利用できるといった好意的な意見をいただいている。</p> <p>■ 総合的な評価:全路線の合計として3つの目標を全て達成している。このような状況から、総合的に『A』とする。</p>	<p>・効果的な周知啓発に努め、地域ニーズの把握と共に利用促進の活動を展開していく。 (地域団体や福祉団体などと連携した乗り方教室等の実施、観光部門と連携したまちあるきバスマップ作成と配布、利用者個々のニーズにオーダーメイドで対応したパーソナル時刻表の作成サービスなど)</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
港タクシー株式会社	【デマンドタクシー】 東平田・中平田・北平田地区 浜中・黒森・十坂地区	【前回の評価結果】 前回実施の評価は次のとおり。 新規地区の運行開始、運行内容の変更、運行地区の統一などを行った。 デマンドタクシー利用者は減少傾向にある中、新規地区である浜中・黒森・十坂地区では高齢者の通院利用や高校生の通学利用といった定期的な利用者が多く、目標達成に至っている。 収支率は、高校生・障がい者向けの割引制度を活用する利用者が多い浜中・黒森・十坂地区が低い結果となっている。 市負担額は、利用者が多く、収支率も低い結果となった浜中・黒森・十坂地区が低い結果となっている。 なお、この時期には運行内容変更に必要な費用を支出している。 【評価結果の反映状況】 前回の評価時は、今後の改善点として、新しい運行内容が広く認知されて乗車機会が増加するよう周知啓発を行うこととしており、その際の想定事例として、目的地マップ等のチラシ作成と配布、地域のコミュニティ組織や福祉団体と連携した周知活動の実施を挙げた。 令和4年10月から令和5年9月までの期間における実績として、公共交通アンケートの実施、福祉団体と連携したデマンドタクシー早見表の作成と配布、市広報での周知を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【利用者数】[目標値、実績値、達成率] 東平田・中平田・北平田地区 1,187人、978人、82.4%:B 浜中・黒森・十坂地区 1,174人、1,644人、140.0%:A 【収支率】[目標値、実績値、達成率] 東平田・中平田・北平田地区 14.2%、13.5%、95.1%:B 浜中・黒森・十坂地区 15.6%、9.2%、59.0%:C 【市負担額】[目標値、実績値、達成率] 東平田・中平田・北平田地区 3,584千円、2,980千円、120.3%:A 浜中・黒森・十坂地区 3,171千円、4,850千円、65.4%:C 東平田・中平田・北平田地区では、【利用者数】【収支率】ともに目標値まで今一步の実績となっており、潜在的な利用者層への効果的な周知、啓発によるはたらきかけが必要と考えられる。 浜中・黒森・十坂地区では、【利用者数】が目標値を大きく上回っており、地域公共交通として浸透している様子が伺えるが、運賃割引制度やバス回数券を活用して乗車している利用者が多いことから、【収支率】【市負担額】の達成率が低い状況となっている。 ■ 総合的な評価:【利用者数】は目標達成または達成率80%以上となった。【収支率】【市負担額】は両方とも順調な地区がある一方、達成率が低い地区がある。このような状況から、総合的に『B』とする。	・効果的な周知啓発に努め、地域ニーズの把握と共に利用促進の活動を展開していく。 (地域団体や福祉団体などと連携したヒアリング調査や乗り方教室等の実施、デマンドタクシー早見表の作成と配布)
酒田合同自動車株式会社	【デマンドタクシー】 西荒瀬・南遊佐地区 平田地域	【前回の評価結果】 前回実施の評価は次のとおり。 新規地区の運行開始、運行内容の変更、運行地区の統一などを行った。 デマンドタクシー利用者は減少傾向にあり、まだ運行内容の変更についての効果が出ていない。 新規地区である平田地域も同様であり、新しい制度に慣れていない様子が伺えるが、長い移動距離を要する地域の高齢者を中心に利用が増え始めている。 なお、この時期には運行内容変更に必要な費用を支出している。 【評価結果の反映状況】 前回の評価時は、今後の改善点として、新しい運行内容が広く認知されて乗車機会が増加するよう周知啓発を行うこととしており、その際の想定事例として、目的地マップ等のチラシ作成と配布、地域のコミュニティ組織や福祉団体と連携した周知活動の実施を挙げた。 令和4年10月から令和5年9月までの期間における実績として、公共交通アンケートの実施、福祉団体と連携したデマンドタクシー早見表の作成と配布、市広報での周知を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【利用者数】[目標値、実績値、達成率] 西荒瀬・南遊佐地区 1,640人、1,952人、119.0%:A 平田地域 1,598人、1,200人、75.1%:C 【収支率】[目標値、実績値、達成率] 西荒瀬・南遊佐地区 17.2%、16.2%、94.2%:B 平田地域 15.6%、10.4%、66.7%:C 【市負担額】[目標値、実績値、達成率] 西荒瀬・南遊佐地区 3,957千円、4,732千円、83.6%:B 平田地域 4,316千円、3,954千円、109.2%:A 西荒瀬・南遊佐地区では、運行内容の拡充が認知され、頻度高く利用する方が増えており、【利用者数】は目標値に達している。【収支率】【市負担額】は目標値まで今一步の実績となっているが、【収支率】は改善傾向にある。 平田地域は、令和4年8月の新規地区として見込んだ状況を下回り、【利用者数】【収支率】ともに低い実績となったが、前回実績よりは向上している。利用事例や他地区の実績などを紹介しながら、地域全体に浸透するよう周知していく必要がある。 ■ 総合的な評価:【利用者数】は目標達成した地区がある一方、達成率80%未満の地区がある。【収支率】【市負担額】も同様な状況である。このような状況から、総合的に『B』とする。	・効果的な周知啓発に努め、地域ニーズの把握と共に利用促進の活動を展開していく。 (地域団体や福祉団体などと連携したヒアリング調査や乗り方教室等の実施、デマンドタクシー早見表の作成と配布)
酒田第一タクシー株式会社	【デマンドタクシー】 新堀・広野地区 八幡地域 松山地域(復路のみ)	【前回の評価結果】 前回実施の評価は次のとおり。 新規地区の運行開始、運行内容の変更、運行地区の統一などを行った。 新堀・広野地区については、変更前の期間からデマンドタクシー利用の意識が高まっていた新堀地域で利用者数の増加を牽引し、目標達成したものと考えられる。 新規地区である八幡地域については、新しい制度に慣れていない様子が伺えるが、利用者登録数も継続的に増えており、今後の利用拡大が見込まれる。 八幡地域及び松山地域は、移動距離が長くなる地域でもあり、収支率や市負担額が悪化しやすい傾向にあるが、乗合率は徐々に高まってきている。 なお、この時期には運行内容変更に必要な費用を支出している。 【評価結果の反映状況】 前回の評価時は、今後の改善点として、新しい運行内容が広く認知されて乗車機会が増加するよう周知啓発を行うこととしており、その際の想定事例として、目的地マップ等のチラシ作成と配布、地域のコミュニティ組織や福祉団体と連携した周知活動の実施を挙げた。 令和4年10月から令和5年9月までの期間における実績として、公共交通アンケートの実施、福祉団体と連携したデマンドタクシー早見表の作成と配布、市広報での周知を行っている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【利用者数】[目標値、実績値、達成率] 新堀・広野地区 447人、749人、167.6%:A 八幡地域 1,494人、2,039人、136.5%:A 松山地域(復路のみ) 1,191人、905人、76.0%:C 【収支率】[目標値、実績値、達成率] 新堀・広野地区 15.3%、13.6%、88.9%:B 八幡地域 15.6%、8.3%、53.2%:C 松山地域(復路のみ) 16.1%、8.5%、52.8%:C 【市負担額】[目標値、実績値、達成率] 新堀・広野地区 1,234千円、2,335千円、52.8%:C 八幡地域 4,035千円、7,759千円、52.0%:C 松山地域(復路のみ) 3,114千円、3,286千円、94.8%:B 新堀・広野地区は、【利用者数】で大きく目標値を上回ったものの、【収支率】【市負担額】は目標値に至っていない。特に【市負担額】の達成率が低いのは、移動距離が長い利用者が多いことが要因と考えられる。 八幡地域は、令和4年8月の新規地区でありながら、既に利用頻度高く利用している方が多くあり、【利用者数】の目標値を上回っている。一方、【収支率】【市負担額】の達成率が低いのは、移動距離が長くなりやすい地域であること、運賃割引制度やバス回数券を活用して乗車している利用者が多いことが要因と考えられる。 松山地域(復路のみ)は、従来からデマンドタクシーの利用者が減少傾向にあった地域のひとつであるが、令和4年8月に実施した運行内容の拡充が想定したほど効果を発揮していない。利用事例や他地区の実績などを紹介しながら、地域全体に浸透するよう周知していく必要がある。 ■ 総合的な評価:【利用者数】は2つの地区で目標達成したが、達成率80%未満の地区が1つある。【収支率】【市負担額】は達成率80%以上の地区があるものの、2つの地区で達成率が低い。このような状況から、総合的に『B』とする。	・効果的な周知啓発に努め、地域ニーズの把握と共に利用促進の活動を展開していく。 (地域団体や福祉団体などと連携したヒアリング調査や乗り方教室等の実施、デマンドタクシー早見表の作成と配布)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
松山観光タクシー有限会社	<p>【デマンドタクシー】</p> <p>松山地域(往路のみ) 平田総合支所管内便</p>	<p>【前回の評価結果】 前回実施の評価は次のとおり。 新規地区の運行開始、運行内容の変更、運行地区の統一などを行った。 デマンドタクシーの利用者数は減少傾向にあり、従来地区である松山地域では、まだ運行内容の変更についての効果が出ていない。新規地区の平田地域では、新しい制度に慣れていない様子が伺えるが、長い移動距離を要する地域の高齢者を中心に利用が増え始めている。 収支率、市負担額については、長い移動距離となることが多い地域であること、また、運行内容変更による費用を支出していることから、目標値には至っていない。平田総合支所管内便の市負担額のみ、利用者数が少なかったことも影響し、目標値より若干上回る結果となった。</p> <p>【評価結果の反映状況】 前回の評価時は、今後の改善点として、新しい運行内容が広く認知されて乗車機会が増加するよう周知啓発を行うこととしており、その際の想定事例として、目的地マップ等のチラシ作成と配布、地域のコミュニティ組織や福祉団体と連携した周知活動の実施を挙げている。 令和4年10月から令和5年9月までの期間における実績として、公共交通アンケートの実施、福祉団体と連携したデマンドタクシー早見表の作成と配布、市広報での周知を行っている。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>B</p>	<p>【利用者数】【目標値、実績値、達成率】 松山地域(往路のみ) 1,191人、1,026人、86.1%:B 平田総合支所管内便 1,598人、1,434人、89.7%:B</p> <p>【収支率】【目標値、実績値、達成率】 松山地域(往路のみ) 16.1%、9.9%、%:61.5%:C 平田総合支所管内便 9.4%、7.5%、79.8%:C</p> <p>【市負担額】【目標値、実績値、達成率】 松山地域(往路のみ) 3,114千円、3,328千円、93.6%:B 平田総合支所管内便 4,636千円、4,034千円、114.9%:A</p> <p>松山地域(往路のみ)は、従来からデマンドタクシーの利用者数が減少傾向にあった地域のひとつであるが、令和4年8月に実施した運行内容の拡充が想定したほど効果を発揮していない。利用事例や他地区の実績などを紹介しながら、地域全体に浸透するよう周知していく必要がある。</p> <p>平田総合支所管内便は、平田地区として実績と同様、令和4年8月の新規地区として見込んだ状況を下回り、【利用者数】【収支率】ともに低い実績となったが、前回実績よりは向上している。利用事例や他地区の実績などを紹介しながら、地域全体に浸透するよう周知していく必要がある。</p> <p>■ 総合的な評価:【利用者数】は目標達成率80%以上となっている。【収支率】の達成率は低いが、【市負担額】では目標達成した地区があり高い実績となっている。このような状況から、総合的に『B』とする。</p>	<p>・効果的な周知啓発に努め、地域ニーズの把握と共に利用促進の活動を展開していく。 (地域団体や福祉団体などと連携したヒアリング調査や乗方教室等の実施、デマンドタクシー早見表の作成と配布)</p>

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(酒田市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>酒田市は、山形県の北西部、最上川が日本海に注ぐ河口に位置し、面積602.98km²となっている。平成17年(2005年)11月1日に、酒田市、八幡町、松山町、平田町の4つのエリアが合併して新「酒田市」となった。令和5年4月1日現在の人口は、96,777人となっている。</p> <p>令和3年(2021年)2月に「酒田市地域公共交通計画」を策定し、今後の市の財政状況や運転手の担い手不足、交通体系のわかりやすさ向上と効率化、地域の主要な拠点である酒田駅前、中町周辺、日本海総合病院へのアクセス向上といった課題を解決するため、令和4年8月1日に全市的な公共交通体系の改編を行った。</p> <p>基本理念である「人と地域の交流を支える公共交通」や「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりを実現するため、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統の設定や役割を整理し、高齢者や障がい者、生徒・学生、観光客といった利用者、地域団体等の声を聴きながら持続可能な公共交通の形成を目指す。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(新庄市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス株式会社	【令和4年10月1日～令和5年9月30日まで】 まちなか循環線	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗り方教室の実施やバスロケーションシステムの導入などを行い利用促進を図っていることを評価します。 ・目標を達していない系統については、しっかりと原因分析を行い、当該分析に対応した今後のさらなる改善策の検討・実施・検証を行っていくことを助言します。 ・また、県立病院の移転に伴う路線改編を行うに当たっては、地域のニーズをしっかりと把握し、それに対応した利便性の高い交通網が形成されることを期待します。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>県立新庄病院の移転に伴う路線改編については、官民が保有する様々なデータを収集し、最上地域全体でバス路線の改編を行い、利便性の向上に努めた。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①年間利用者数 【目標値】年間5,300人 【実績値】年間8,898人 【達成率】167.8%(A評価) 継続的に広報や対象を絞ったチラシを配布したことにより、利用者数が増加につながっている。</p> <p>②収支率 【目標値】32% 【実績値】17% 【達成率】53.1%(C評価) 目標値が国庫補助額を含めた(推計値)収入としていたため、達成率が低くなった。</p> <p>③市負担額 【目標値】11,000,000円 【実績値】10,547,615円 【達成率】104.2%(A評価)</p> <p>※路線としての評価は、Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上:C、その他:Bとした(以下同)</p>	令和5年10月1日から、拠点施設である県立新庄病院が移転することに伴い、ダイヤ改正及び路線改編を行う。県を含む関係自治体及び公共交通事業者と検討を重ね、交通モードごとの接続性や、利便性の向上を図る。
	【令和5年3月1日～令和5年9月30日まで】 鳥越線	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度からの新規補助対象系統のため、前回事業評価なし。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①年間利用者数 【目標値】年間13,272人 【実績値】年間6,719人 【達成率】50.6%(C評価) 目標値が10月から9月までの1年間の数値となっており、実績値は、補助対象期間の7ヵ月での数値となっている。</p> <p>②収支率 【目標値】67% 【実績値】80% 【達成率】119.4%(A評価)</p> <p>③市負担額 【目標値】503,000円 【実績値】262,000円 【達成率】191.9%(A評価) 小学生、中学生の利用が増加し、定期券購入が増加したため。</p>	令和6年4月1日開校予定である、東北農林専門職大学に合わせ、学生の足の確保及び地域の足の核のため、ダイヤ改正及び路線改編を実施し利便性向上を図ることとしている。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新庄市	<p>【令和4年10月1日～令和5年9月30日まで】 土内線 ※ 車両減価償却費等国庫補助金対象</p>	<p>【前回の評価結果】 ・乗り方教室の実施やバスロケーションシステムの導入などを行い利用促進を図っていることを評価します。 ・目標を達していない系統については、しっかりと原因分析を行い、当該分析に対応した今後のさらなる改善策の検討・実施・検証を行っていくことを助言します。 ・また、県立病院の移転に伴う路線改編を行うに当たっては、地域のニーズをしっかりと把握し、それに対応した利便性の高い交通網が形成されることを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】 県立新庄病院の移転に伴う路線改編については、官民が保有する様々なデータを収集し、最上地域全体でバス路線の改編を行い、利便性の向上に努めた。</p>	A	<p>A</p> <p>①年間利用者数 【目標値】年間2,500人 【実績値】年間2,593人 【達成率】103.7%(A評価)</p> <p>②収支率 【目標値】10% 【実績値】14% 【達成率】140%(A評価) 回数乗車券の売上げが増加したため。</p> <p>③市負担額 【目標値】2,400,000円 【実績値】2,899,946円 【達成率】82.7%(B評価)</p>	<p>令和5年10月1日から、拠点施設である県立新庄病院が移転することに伴い、ダイヤ改正及び路線改編を行う。県を含む関係自治体及び公共交通事業者と検討を重ね、交通モードごとの接続性や、利便性の向上を図る。</p>
	<p>【令和4年10月1日～令和5年9月30日まで】 芦沢線 ※ 車両減価償却費等国庫補助金対象</p>		A	<p>B</p> <p>①年間利用者数 【目標値】年間1,900人 【実績値】年間1,611人 【達成率】84.7%(B評価)</p> <p>②収支率 【目標値】10% 【実績値】15% 【達成率】150%(A評価) 回数乗車券の売上げが増加したため。</p> <p>③市負担額 【目標値】1,340,000円 【実績値】1,681,720円 【達成率】79.6%(C評価) 燃料費の高騰により、経費が増加したため。</p>	<p>令和5年10月1日から、拠点施設である県立新庄病院が移転することに伴い、ダイヤ改正及び路線改編を行う。県を含む関係自治体及び公共交通事業者と検討を重ね、交通モードごとの接続性や、利便性の向上を図る。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(新庄市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>新庄市は、東日本旅客鉄道(株)新庄駅や山形県立新庄病院を中心に、鉄道は4路線と山形新幹線が、バスは事業者路線が2路線、他村からの乗り入れが2路線、新庄市営路線が4路線の計8路線運行している。</p> <p>近年では人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線が相次いで撤退するなど、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、中でも、高齢者や学生の足の確保を主たる目的とし、「域内の主要集落から、総合病院・高校への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(寒河江市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
中央タクシー株式会社	市内循環バス (北部ルート(右回り・左回り))	<p>【前回の評価結果】 広報紙やホームページ等を活用した本事業の周知徹底を図るとともに、地域のニーズをしっかりと把握し、新規利用者の確保に努めていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 市広報紙やホームページ等を活用するほか、西村山地域の公共交通マップの作成、本市に関わる公共交通機関の時刻表を網羅したバスブックを作成する等、公共交通の乗り継ぎの利便性を周知し、利用者の確保・増加に努めた。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 目標に対する達成状況は、年間利用者数については目標1,493人以上に対し1,657人で達成率111%(A評価)、収支率については目標3.9%以上に対し2.8%で達成率72%(C評価)、負担額については目標4,111千円に対し6,937千円で達成率59%(C評価)となった。補助要件を満たしていない(1運行当たり2人未満(1.2人))ため、総合評価はC評価となった。 北部ルートの停留所は県や市の公共施設(庁舎、文化会館、福祉・子育て施設等)が多く、withコロナの状況となり施設使用制限等の解除や周知の効果により利用者数が伸びたが、半額の運賃で利用できる方が多く乗車したため運賃収入が減少したことで負担額が増加した。	市広報誌やホームページへの掲載のほか、市公式SNSでの発信を積極的に行い、運行情報の周知の徹底や認知度の向上を図るほか、公共交通機関との乗り継ぎがしやすいダイヤへの改定やバス停の追加等を検討し、利便性の向上及び新規利用者の確保に努める。
寒河江タクシー株式会社	市内循環バス (南部ルート(右回り・左回り))		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 目標に対する達成状況は、年間利用者数については目標3,148人以上に対し2,832人で達成率90%(B評価)、収支率については目標7.4%以上に対し6.6%で達成率89%(B評価)、負担額については目標4,110千円に対し4,649千円で達成率88%(B評価)となり、それぞれの達成率の平均は89%で総合評価はB評価となった。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
中央タクシー株式会社	デマンドタクシー (幸生、中郷、醍醐・三泉地区)	<p>【前回の評価結果】 広報紙やホームページ等を活用した本事業の周知徹底を図るとともに、地域のニーズをしっかりと把握し、新規利用者の確保に努めていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ホームページ等を活用し、本事業の周知を図るほか、利用者の大半を占める高齢者がよく利用する病院、薬局、スーパー等の共通乗降場を追加し、利便性の向上を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標に対する達成状況は、年間利用者数については目標1,751人以上に対し1,857人で達成率106%(A評価)、収支率については目標10.4%以上に対し16.1%で達成率155%(A評価)、負担額については目標4,268千円に対し3,503千円で達成率82%(B評価)となり、それぞれの達成率の平均は111%で総合評価はA評価となった。 withコロナの世の中になり、外出する機会が増え、利用者が増加した。	市広報誌やホームページ等への掲載を継続し、新規登録者数を確保させるほか、既存の登録者に対して、改めて利用方法を周知し、利用者増を図る。
寒河江タクシー株式会社	デマンドタクシー (田代、谷沢地区)	<p>【前回の評価結果】 広報紙やホームページ等を活用した本事業の周知徹底を図るとともに、地域のニーズをしっかりと把握し、新規利用者の確保に努めていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ホームページ等を活用し、本事業の周知を図るほか、利用者の大半を占める高齢者がよく利用する病院、薬局、スーパー等の共通乗降場を追加し、利便性の向上を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標に対する達成状況は、年間利用者数については目標1,365人以上に対し1,808人で達成率132%(A評価)、収支率については目標10.3%以上に対し15.5%で達成率150%(A評価)、負担額については目標3,704千円に対し3,439千円で達成率92%(B評価)となり、それぞれの達成率の平均は123%で総合評価はA評価となった。 withコロナの世の中になり、外出する機会が増え、利用者が増加した。	

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(寒河江市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>寒河江市は、山形県のほぼ中央に位置し、総面積139.03km²で、東西約12.5km、南北約21.5kmと南北に細長い形状をしている。市内には山間部、中山間部、平野部があり、地域ごとに交通のインフラ環境は異なる。</p> <p>生活圏の中心である平野部の公共交通は、県庁所在地である山形市と結ばれる鉄道JR左沢線のほか、寒河江駅に隣接の寒河江バスターミナルを始点(経由点)として放射状に隣接自治体と結ばれる路線バスネットワークで形成されている。</p> <p>市が抱える課題として、市民の利用頻度が高い医療機関、大型商業施設、公共施設などは、その多くが寒河江駅を中心とする約1.5km圏内に点在しており、上述の鉄道や路線バスでは各施設を結ぶ移動が困難なものとなっている。また、幹線道路等を走る路線バスのバス停から300m以上離れているために、路線バスの利用が困難な市街地周辺の集落も多い。</p> <p>さらに、最寄りの駅又は路線バスの停留所から直線で500m離れる地域、若しくは500m以内にはあるが市を横断する河川によって分断される地域「公共交通空白地帯」が存在し、中山間部を含めた5つのエリアにおいて公共交通の利用が困難な状況にある。</p> <p>以上の課題を解消することを目的として、地域間幹線系統と接続する地域内フィーダー系統(市内循環バス及びデマンドタクシー(予約制乗合タクシー))を運行する。その結果、市内の各施設を結ぶ移動を可能にするとともに、路線バスの利用が困難な市街地周辺に居住する市民の移動手段を確保すること、また、「公共交通空白地帯」を解消することにより、高齢者を中心とする交通弱者の生活交通路線の確保及び市民の日常生活にとって安全で質の高い地域公共交通ネットワークの充実を図る。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(上山市)地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス(株)	上山～棚木	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成していない系統について、新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後の更なる改善策の検討・実施・検証を行っていくこと。 ・目標値の設定の際には、ダイヤの見直しなどによる利便性の向上や周知・啓発などの効果を踏まえ、現状の改善を目指した検討を行うこと。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>利用者の少ない時間帯を廃便し、1便あたりの利用者数を増やし、収支率の改善を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①利用者数 【目標値】年間7,300人以上 【実績値】8,751人 【達成率】119.9% (A評価)</p> <p>②収支率(共通) 【目標値】収支率63%以上 【実績値】66.91% 【達成率】106.2% (A評価)</p> <p>③市負担額(共通) 【目標値】2,200万円 【実績値】25,08万9千円 【達成率】87.7% (B評価)</p> <p>利用者数と共通目標の収支率は目標を達成しているが、共通目標値の市負担額は利用者数が伸びなかった系統に引きずられ達成できなかった。今年度から利用者数の少ない3系統を廃線したため、来年度の実績について改善が見込まれる。</p> <p>※路線としての評価は、Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上:C、その他:Bとした(以下同)</p>	引き続き、バス時刻表を配付し、利用促進に向けた周知を行う。近年の利用者実績をもとに、今後の設定目標値を精査する。
山交バス(株)	上山～久保手	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成していない系統について、新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後の更なる改善策の検討・実施・検証を行っていくこと。 ・目標値の設定の際には、ダイヤの見直しなどによる利便性の向上や周知・啓発などの効果を踏まえ、現状の改善を目指した検討を行うこと。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>利用者の少ない時間帯を廃便し、1便あたりの利用者数を増やし、収支率の改善を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①利用者数 【目標値】年間8,900人以上 【実績値】7,304人 【達成率】82.1% (B評価)</p> <p>②収支率(共通) 【目標値】収支率63%以上 【実績値】66.91% 【達成率】106.2% (A評価)</p> <p>③市負担額(共通) 【目標値】2,200万円 【実績値】25,08万9千円 【達成率】87.7% (B評価)</p> <p>共通目標の収支率は目標を達成しているが、利用者数と共通目標値の市負担額が達成できなかった。共通目標の市負担額については今年度から利用者数の少ない3系統を廃線したため、来年度の実績について改善が見込まれるが、利用者数の目標値については、年度当初に減便があったため、目標値を精査する必要がある。</p>	引き続き、バス時刻表を配付し、利用促進に向けた周知を行う。近年の利用者実績をもとに、今後の設定目標値を精査する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交ハイヤー(株)	市営バス市内循環線	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成していない系統について、新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後の更なる改善策の検討・実施・検証を行っていくこと。 ・目標値の設定の際には、ダイヤの見直しなどによる利便性の向上や周知・啓発などの効果を踏まえ、現状の改善を目指した検討を行うこと。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>運行対象エリアの拡大に伴い、運行時刻を見直すことで、他の市内公共交通との接続がスムーズに行われるよう、利便性の向上を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標値】</p> <p>①利用者数 【目標値】年間5600人以上 【実績値】年間6,141人 【達成率】111.7% (A評価)</p> <p>②収支率 【目標値】6.5%以上 【実績値】7.4% 【達成率】113.8% (A評価)</p> <p>③市負担額 【目標値】1,373万円 【実績値】1,406万2千円 【達成率】97.6% (B評価)</p> <p>利用者数・収支率ともに、目標を10%以上上回っているものの、1便当たりの利用者数が2人以下となっており、補助要件を満たしていないため、C評価となっている。</p>	今年度より利用エリアが拡大となり、利用促進のPRを強化していくとともに、費用対効果を重視しながら運行内容の見直しについて検討していく。
観光タクシー(株)	上山市営予約制乗合タクシー	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成していない系統について、新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後の更なる改善策の検討・実施・検証を行っていくこと。 ・目標値の設定の際には、ダイヤの見直しなどによる利便性の向上や周知・啓発などの効果を踏まえ、現状の改善を目指した検討を行うこと。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>運行対象エリアの拡大に伴い、既に運行対象としている地域に対しても改めてPRし、全エリアに対し利用促進に向けた活動を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①利用者数 【目標値】年間6,700人以上 【実績値】年間6,706人 【達成率】100% (A評価)</p> <p>②収支率 【目標値】16.5%以上 【実績値】15.2% 【達成率】92.1% (B評価)</p> <p>③市負担額 【目標値】1,067万円 【実績値】1,197万2千円 【達成率】89.1% (B評価)</p> <p>利用者当たりの運賃が低くなっているため、収支率と市負担額が目標値に届いていない。</p>	今年度より利用エリアが拡大となり、利用促進のPRを強化していくとともに、費用対効果を重視しながら運行内容の見直しについて検討していく。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(上山市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	上山市は山形県内陸部の南東に位置し、面積は241.00km ² 、人口は28,118である。 近年では人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線の利用者数が衰退するなど、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。今後、高齢化が急速に進行し交通弱者が増加することが予想される中、公共交通の重要性は更に増していく。誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠であり、市が運営する公共交通と民間事業者が運営する公共交通の乗り継ぎがスムーズにできるよう効率的な運行を行い、誰もが利用しやすい公共交通を確保することを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 6年 1月30日

協議会名: 山形県(村山市)地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株) 楯岡交通	山の内～北村山公立病院線	<p>【前回の評価結果】 バス利用者の利便性向上のため、利用状況を精査し、経路の変更や停留所変更について検討する。また、より効率的な運行となるよう運行計画を見直す。 車内の換気や消毒等のコロナ感染防止対策を継続し、安心して利用できるよう努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者の利便性向上のため、利用状況を精査し、経路や停留所等の変更を検討した。これにより、令和6年度から経路の変更および停留所の新設等を予定。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>利用者数 【目標値】4,800人 【実績値】5,820人 【達成率】121.3%</p> <p>B</p> <p>4路線の収支率 【目標値】0.5% 【実績値】0.4% 【達成率】80% 運賃が無料の方(高校生以下、70歳以上、障がい者)の乗車が多かったため、目標達成とならなかった。</p> <p>A</p> <p>4路線の市負担額 【目標値】26,500千円 【実績値】26,413千円 【達成率】100.3%</p>	<p>時刻表の配布等で引き続き周知を図るとともに、利用者の利便性向上のため、運行経路・時刻・停留所等について精査し、適宜変更する。</p>
(株) 楯岡交通	富並～河北病院線	<p>【前回の評価結果】 バス利用者の利便性向上のため、利用状況を精査し、経路の変更や停留所変更について検討する。また、より効率的な運行となるよう運行計画を見直す。 車内の換気や消毒等のコロナ感染防止対策を継続し、安心して利用できるよう努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者の利便性向上のため、利用状況を精査し、経路や停留所等の変更を検討した。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>利用者数 【目標値】1,000人 【実績値】949人 【達成率】94.9%</p> <p>B</p> <p>4路線の収支率 【目標値】0.5% 【実績値】0.4% 【達成率】80% 運賃が無料の方(高校生以下、70歳以上、障がい者)の乗車が多かったため、目標達成とならなかった。</p> <p>A</p> <p>4路線の市負担額 【目標値】26,500千円 【実績値】26,413千円 【達成率】100.3%</p>	<p>時刻表の配布等で引き続き周知を図るとともに、利用者の利便性向上のため、運行経路・時刻・停留所等について精査し、適宜変更する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)						
(株) 楯岡交通	楯岡北町～市役所線	<p>【前回の評価結果】 バス利用者の利便性向上のため、利用状況を精査し、経路の変更や停留所変更について検討する。また、より効率的な運行となるよう運行計画を見直す。 車内の換気や消毒等のコロナ感染防止対策を継続し、安心して利用できるよう努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者の利便性向上のため、停留所を移設した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1550 273 1597 508">B</td> <td data-bbox="1597 273 2023 508"> 利用者数 【目標値】5,000人 【実績値】4,050人 【達成率】81.0% コロナ5類移行後も見込んだほど利用が回復せず、目標達成とならなかった。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1550 508 1597 742">B</td> <td data-bbox="1597 508 2023 742"> 4路線の収支率 【目標値】0.5% 【実績値】0.4% 【達成率】80% 運賃が無料の方(高校生以下、70歳以上、障がい者)の乗車が多かったため、目標達成とならなかった。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1550 742 1597 971">A</td> <td data-bbox="1597 742 2023 971"> 4路線の市負担額 【目標値】26,500千円 【実績値】26,413千円 【達成率】100.3% </td> </tr> </table>	B	利用者数 【目標値】5,000人 【実績値】4,050人 【達成率】81.0% コロナ5類移行後も見込んだほど利用が回復せず、目標達成とならなかった。	B	4路線の収支率 【目標値】0.5% 【実績値】0.4% 【達成率】80% 運賃が無料の方(高校生以下、70歳以上、障がい者)の乗車が多かったため、目標達成とならなかった。	A	4路線の市負担額 【目標値】26,500千円 【実績値】26,413千円 【達成率】100.3%	時刻表の配布等で引き続き周知を図るとともに、利用者の利便性向上のため、運行経路・時刻・停留所等について精査し、適宜変更する。
B	利用者数 【目標値】5,000人 【実績値】4,050人 【達成率】81.0% コロナ5類移行後も見込んだほど利用が回復せず、目標達成とならなかった。										
B	4路線の収支率 【目標値】0.5% 【実績値】0.4% 【達成率】80% 運賃が無料の方(高校生以下、70歳以上、障がい者)の乗車が多かったため、目標達成とならなかった。										
A	4路線の市負担額 【目標値】26,500千円 【実績値】26,413千円 【達成率】100.3%										
(株) 楯岡交通	深沢・宮下～村山駅(西口)線	<p>【前回の評価結果】 バス利用者の利便性向上のため、利用状況を精査し、経路の変更や停留所変更について検討する。また、より効率的な運行となるよう運行計画を見直す。 車内の換気や消毒等のコロナ感染防止対策を継続し、安心して利用できるよう努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者の利便性向上のため、停留所を追加した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1550 971 1597 1206">B</td> <td data-bbox="1597 971 2023 1206"> 利用者数 【目標値】1,500人 【実績値】1,214人 【達成率】80.9% コロナ5類移行後も見込んだほど利用が回復せず、目標達成とならなかった。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1550 1206 1597 1441">B</td> <td data-bbox="1597 1206 2023 1441"> 4路線の収支率 【目標値】0.5% 【実績値】0.4% 【達成率】80% 運賃が無料の方(高校生以下、70歳以上、障がい者)の乗車が多かったため、目標達成とならなかった。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1550 1441 1597 1666">A</td> <td data-bbox="1597 1441 2023 1666"> 4路線の市負担額 【目標値】26,500千円 【実績値】26,413千円 【達成率】100.3% </td> </tr> </table>	B	利用者数 【目標値】1,500人 【実績値】1,214人 【達成率】80.9% コロナ5類移行後も見込んだほど利用が回復せず、目標達成とならなかった。	B	4路線の収支率 【目標値】0.5% 【実績値】0.4% 【達成率】80% 運賃が無料の方(高校生以下、70歳以上、障がい者)の乗車が多かったため、目標達成とならなかった。	A	4路線の市負担額 【目標値】26,500千円 【実績値】26,413千円 【達成率】100.3%	時刻表の配布等で引き続き周知を図るとともに、利用者の利便性向上のため、運行経路・時刻・停留所等について精査し、適宜変更する。
B	利用者数 【目標値】1,500人 【実績値】1,214人 【達成率】80.9% コロナ5類移行後も見込んだほど利用が回復せず、目標達成とならなかった。										
B	4路線の収支率 【目標値】0.5% 【実績値】0.4% 【達成率】80% 運賃が無料の方(高校生以下、70歳以上、障がい者)の乗車が多かったため、目標達成とならなかった。										
A	4路線の市負担額 【目標値】26,500千円 【実績値】26,413千円 【達成率】100.3%										

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株) 楯岡交通	富本・戸沢～楯岡方面	<p>【前回の評価結果】 今後も啓発活動を行うとともに市民が安心して利用できるよう車内の換気や消毒等のコロナ感染防止対策を継続する。また、利用者や事業者に聞き取りを行い、利便性向上に努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者の利便性向上のため、利用者や事業者からの意見をもとに運行区域等の変更を検討した。これにより、令和6年度から運行区域の拡大および予約受付時間の変更を予定。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>A 利用者数 【目標値】1,000人 【実績値】1,156人 【達成率】115.6%</p> <p>A 収支率 【目標値】8.0% 【実績値】7.8% 【達成率】102.5%</p> <p>A 市負担額 【目標値】4,000千円 【実績値】3,363千円 【達成率】118.9%</p>	市報や市ホームページ等で引き続き周知を図る。また、運行区域や指定停留所等について利用者・事業者の意見をもとに精査し、適宜変更する。
(株) 楯岡交通	富本・戸沢～河北方面	<p>【前回の評価結果】 今後も啓発活動を行うとともに市民が安心して利用できるよう車内の換気や消毒等のコロナ感染防止対策を継続する。また、利用者や事業者に聞き取りを行い、利便性向上に努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者の利便性向上のため、利用者や事業者からの意見をもとに運行区域等の変更を検討した。これにより、令和6年度から運行区域の拡大および予約受付時間の変更を予定。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>B 利用者数 【目標値】800人 【実績値】758人 【達成率】94.8%</p> <p>A 収支率 【目標値】7.5% 【実績値】7.3% 【達成率】102.7%</p> <p>B 市負担額 【目標値】2,100千円 【実績値】2,289千円 【達成率】91.7%</p>	市報や市ホームページ等で引き続き周知を図る。また、運行区域や指定停留所等について利用者・事業者の意見をもとに精査し、適宜変更する。
丸伸建設(株)	大倉地域・五十沢地区～楯岡方面	<p>【前回の評価結果】 今後も啓発活動を行うとともに市民が安心して利用できるよう車内の換気や消毒等のコロナ感染防止対策を継続する。また、利用者や事業者に聞き取りを行い、利便性向上に努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 利用者の利便性向上のため、利用者や事業者からの意見をもとに利用方法等の変更を検討した。これにより、令和6年度から予約受付時間等の変更を予定。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>B 利用者数 【目標値】1,000人 【実績値】903人 【達成率】90.3%</p> <p>B 収支率 【目標値】9.0% 【実績値】9.3% 【達成率】96.8%</p> <p>A 市負担額 【目標値】2,300千円 【実績値】1,967千円 【達成率】116.9%</p>	市報や市ホームページ等で引き続き周知を図る。また、運行区域や指定停留所等について利用者・事業者の意見をもとに精査し、適宜変更する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月30日

協議会名:	山形県(村山市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>村山市は山形県の中心部に位置し、人口は22,338人、面積は196.98平方キロメートルで、東西22キロメートル、南北15キロメートルの東西に長い形をしている。東を奥羽山脈、西を出羽丘陵に囲まれ、中央を最上川が蛇行しながら北流している。</p> <p>本市においても高齢化や核家族化により、公共交通による買い物や通院などの移動手段の確保が課題となっている。市営バスの利用者数については減少傾向にあり、路線や便ごとにばらつきがみられる。令和4年度に利用実績や住民アンケート調査に基づき、市営バスの一部路線の見直しと再編を行い、フリー乗降も始めた。乗合タクシーについても新たに五十沢地区を運行区域とした。</p> <p>将来に渡り安定した公共交通を確保・維持するために、地域の公共交通対策としてフィーダー系統(路線型・デマンド型)を幹線系統と組み合わせて運行することで、生活交通ネットワークの構築していかなければならない。今後も公共交通の維持・確保と通勤・通学、買い物等市民生活の利便性の向上に務める。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 6年 1月 30日

協議会名: 山形県(長井市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
長井市	(1) 勸進代(白兔)・置賜総合病院線 ※車両減価償却費国庫補助金対象車両	【前回の評価結果】 ・ 路線効率化を図った新路線での1年間であったが、全系統の合計値として、燃料費の高騰により路線維持に係る負担額は増加したものの、年間乗車数及び路線の収支率は目標を達成することができた。 ・ 更なる利便性の高いネットワークを構築し、分散した地域のニーズに応えるため、現行の「らくらく乗換」をベースとした路線の延伸、時刻改正を実施する。また、系統の細分化(運行車両の増車)を検討する。 ※ 令和5年8月末に公共複合施設の完成が予定されており、各系統で延伸を計画している。 ・ 継続的な広報活動に取り組み、認知度を高めることで、利用者の利用頻度向上及び新規利用者の増加を目指す。 【評価結果の反映状況】 ・ 令和6年度の国庫補助期間から路線及び時刻を改正する。 ・ 運転免許証返納者への市営バス特別乗車券(1年間無料券)の交付、山交バス・フラワー長井線の時刻も記載した「長井市バスブック」の全戸配布等により利用促進を図った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	①年間乗車数 目標 8,918人 実績 9,556人 / 達成率107.1%(A評価) ②路線の収支率 目標 5.7% 実績 13.9% / 達成率243.8%(A評価) ③負担額 目標 5,879千円 実績 5,872千円 / 達成率100.1%(A評価) ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上又は補助対象外:C評価、その他:B評価	・ 全系統で運行する地域、時刻の整合性をとっているため、1系統のみ改正することが難しいことから、全事項共通として記載する。 ・ 燃料費の高騰により路線維持に係る負担額は増加したものの、年間乗車数及び路線の収支率は目標を達成することができた。 ※ 概要資料1/9、2/9参照 ・ 更なる利便性の高いネットワークを構築し、分散した地域のニーズに応えるため、現行の「らくらく乗換」をベースとした路線、時刻改正を実施する。また、系統の細分化(運行車両の増車)し、利用者の利便性を向上する。 ・ 継続的な広報活動(地区及び学校等へのモビリティマネジメント、長井市バスブックの全戸配布など)に取り組み、認知度を高めることで、利用者の利用頻度向上及び新規利用者の増加を目指す。
	(2) 勸進代(白兔)・置賜総合病院線(短縮) ※車両減価償却費国庫補助金対象車両		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	①年間乗車数 目標 429人 実績 483人 / 達成率112.5%(A評価) ②路線の収支率 目標 5.7% 実績 13.8% / 達成率242.1%(A評価) ③負担額 目標 284千円 実績282千円 / 達成率100.7%(A評価) ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上又は補助対象外:C評価、その他:B評価	
	(3) 白兔(里巻)・中央・平線 ※車両減価償却費国庫補助金対象車両		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	①年間乗車数 目標 3,802人 実績 5,767人 / 達成率151.6%(A評価) ②路線の収支率 目標 5.7% 実績 4.8% / 達成率84.2%(B評価) ③負担額 目標 5,640千円 実績 6,105千円 / 達成率92.3%(B評価) ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上又は補助対象外:C評価、その他:B評価	
	(4) 白兔(里巻)・中央・平線(短縮) ※車両減価償却費国庫補助金対象車両		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	①年間乗車数 目標 280人 実績146人 / 達成率52.1%(C評価) ②路線の収支率 目標 5.7% 実績 4.6% / 達成率80.7%(B評価) ③負担額 目標 416千円 実績 450千円 / 達成率92.4%(B評価) ④C評価となった原因 利用者ニーズの変化により、利用者が減少したと思われる。 ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上又は補助対象外:C評価、その他:B評価	
	(5) 九野本・中央・平山線		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	①年間乗車数 目標 2,709人 実績 2,748人 / 達成率101.4%(A評価) ②路線の収支率 目標 5.7% 実績 4.6% / 達成率80.7%(B評価) ③負担額 目標 5,894千円 実績 6,392千円 / 達成率92.2%(B評価) ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上又は補助対象外:C評価、その他:B評価	
	(6) 九野本・中央・平山線(短縮)		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	①年間乗車数 目標 191人 実績 471人 / 達成率246.5%(A評価) ②路線の収支率 目標 5.7% 実績 4.4% / 達成率77.1%(C評価) ③負担額 目標 416千円 実績 450千円 / 達成率92.4%(B評価) ④C評価となった原因 (1カ月1,000円)の定期券の車内販売が減少したため。 ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上又は補助対象外:C評価、その他:B評価	
	(7) 伊佐沢・中央線 ※車両減価償却費国庫補助金対象車両		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	①年間乗車数 目標 4,334人 実績 4,826人 / 達成率111.3%(A評価) ②路線の収支率 目標 5.7% 実績 5.5% / 達成率96.4%(B評価) ③負担額 目標 5,723千円 実績 6,155千円 / 達成率92.9%(B評価) ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上又は補助対象外:C評価、その他:B評価	
	(8) 伊佐沢・中央線(短縮) ※車両減価償却費国庫補助金対象車両		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	①年間乗車数 目標 90人 実績 28人 / 達成率31.1%(C評価) ②路線の収支率 目標 5.7% 実績 5.4% / 達成率94.7%(B評価) ③負担額 目標 119千円 実績 128千円 / 達成率92.9%(B評価) ④C評価となった原因 利用者ニーズの変化により、利用者が減少したと思われる。 ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上又は補助対象外:C評価、その他:B評価	

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月 30日

協議会名:	山形県(長井市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市は山形県の南部に位置し、総面積214.67km²、人口は24,952人(令和5年9月末現在)で、高齢化率は36.2%(令和3年10月1日時点)であり、山形県平均の34.3%と比較しても高齢化がやや進行している。人口の約半分が市街地である中央地区に集中しており、この60年間の中央地区の人口はほぼ横ばいであるが、郊外の5地区については人口減少による過疎化が進行している。</p> <p>本市における幹線的な交通機関として、山形鉄道フラワー長井線(荒砥～赤湯)、山交バス(山形市役所(六角・荒砥)長井)が運行しているが、交通空白地帯(主に郊外の5地区)の解消には至っていない。これを解消し、交通弱者の通学、通院及び買い物等の外出を支援するため、結節する既存フィーダー系統として、定時定路線運行の市営バス「8系統」を設定している。</p> <p>上記路線を維持することにより、交通空白地帯(主に郊外の5地区)の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出促進・地域活性化にもつながる。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名： 山形県(天童市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
天童タクシー	中部線	<p>【前回の評価結果】 地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。各便の利用数や利用された目的地・停留所の集計を行い、運行ダイヤの検討を行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 市内一部地域で利用方法について説明会を行った。利用状況の集計や会員登録者にアンケート調査を実施し、運行内容の検討を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標値、実績値、達成率 ・利用人数：B 400人、393人、98% ・収支率(全系統)：A 97.00%、98.98%、102.04% ・市負担(全系統)：A 26,700,000円、26,700,000円、100% 路線の評価は以下により決定 Aが2つ以上：A Cが2つ以上：C その他：B	地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。 各系統の利用状況について集計を行い、運行内容の検討を行う。(各路線共通)
天童タクシー・ 山寺観光タクシー	長岡線	<p>【前回の評価結果】 地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。各便の利用数や利用された目的地・停留所の集計を行い、運行ダイヤの検討を行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 市内一部地域で利用方法について説明会を行った。利用状況の集計や会員登録者にアンケート調査を実施し、運行内容の検討を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標値、実績値、達成率 ・利用人数：A 600人、623人、104% ・収支率(全系統)：A 同上：A ・市負担(全系統)：A 同上 路線の評価は以下により決定 Aが2つ以上：A Cが2つ以上：C その他：B	
天童タクシー	荒谷・干布線	<p>【前回の評価結果】 地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。各便の利用数や利用された目的地・停留所の集計を行い、運行ダイヤの検討を行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 市内一部地域で利用方法について説明会を行った。利用状況の集計や会員登録者にアンケート調査を実施し、運行内容の検討を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標値、実績値、達成率 ・利用人数：B 1,000人、850人、85% ・収支率(全系統)：A 同上 ・市負担(全系統)：A 同上 路線の評価は以下により決定 Aが2つ以上：A Cが2つ以上：C その他：B	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
天童タクシー・ 山交ハイヤー・ 山寺観光タクシー	成生・蔵増区域	【前回の評価結果】 地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。各便の利用数や利用された目的地・停留所の集計を行い、運行ダイヤの検討を行う。 【評価結果の反映状況】 市内一部地域で利用方法について説明会を行った。利用状況の集計や会員登録者にアンケート調査を実施し、運行内容の検討を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標値、実績値、達成率 ・利用人数:A 3,000人、3,457人、115% ・収支率(全系統):A 同上 ・市負担(全系統):A 同上 路線の評価は以下により決定 Aが2つ以上:A Cが2つ以上:C その他:B	
天童タクシー・ 山寺観光タクシー	寺津・高掬区域	【前回の評価結果】 地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。各便の利用数や利用された目的地・停留所の集計を行い、運行ダイヤの検討を行う。 【評価結果の反映状況】 市内一部地域で利用方法について説明会を行った。利用状況の集計や会員登録者にアンケート調査を実施し、運行内容の検討を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 目標値、実績値、達成率 ・利用人数:C 1,500人、1,028人、69% ・収支率(全系統):A 同上 ・市負担(全系統):A 同上 令和4年4月より運行内容の見直しを行ったが、目標利用人数には達しなかった。 路線の評価は以下により決定 Aが2つ以上:A Cが2つ以上:C その他:B	
天童タクシー・ 山交ハイヤー・ 山寺観光タクシー	津山・天童原区域	【前回の評価結果】 地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。各便の利用数や利用された目的地・停留所の集計を行い、運行ダイヤの検討を行う。 【評価結果の反映状況】 市内一部地域で利用方法について説明会を行った。利用状況の集計や会員登録者にアンケート調査を実施し、運行内容の検討を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標値、実績値、達成率 ・利用人数:A 1,200人、1,344人、112% ・収支率(全系統):A 同上 ・市負担(全系統):A 同上 路線の評価は以下により決定 Aが2つ以上:A Cが2つ以上:C その他:B	
天童タクシー・ 山寺観光タクシー	山口・田麦野区域	【前回の評価結果】 地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。各便の利用数や利用された目的地・停留所の集計を行い、運行ダイヤの検討を行う。 【評価結果の反映状況】 市内一部地域で利用方法について説明会を行った。利用状況の集計や会員登録者にアンケート調査を実施し、運行内容の検討を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標値、実績値、達成率 ・利用人数:B 3,200人、3,106人、97% ・収支率(全系統):A 同上 ・市負担(全系統):A 同上 路線の評価は以下により決定 Aが2つ以上:A Cが2つ以上:C その他:B	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(天童市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	天童市は山形県東部に位置し、面積は113.02km ² 人口は62,140人(国勢調査) 近年では人口減少傾向であり、高齢化が進展している。誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、中でも、高齢者や学生の足の確保を主たる目的とし、「域内の主要集落から、総合病院・高校への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(東根市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス株式会社	向原神町東根線(公立病院経由)			年間利用者数 【目標値】年間10,361人 【実績値】年間9,252人 【達成率】89.3%(B評価)	定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。
	向原神町東根線(長瀬・公立病院経由)	【前回の評価結果】 新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、感染防止対策に配慮した運行を行う。また、定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。 【評価結果の反映状況】 ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止に配慮した運行を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 収支率 【目標値】31.4% 【実績値】12.0% 【達成率】38.2%(C評価) 時間に融通の利く自家用車の利用が多いことや、コロナ禍で減少した利用者数が回復しないことが影響していると考えられる。 東根市負担額 【目標値】2,733千円 【実績値】5,687千円 【達成率】48.1%(C評価) 時間に融通の利く自家用車の利用が多いことや、コロナ禍で減少した利用者数が回復しないことが影響していると考えられる。 ※Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上:C、その他B	定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス株式会社	休石線	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、感染防止対策に配慮した運行を行う。また、定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止に配慮した運行を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>年間利用者数 【目標値】年間2,182人 【実績値】年間1,759人 【達成率】80.6%(B評価)</p> <p>収支率 【目標値】4.3% 【実績値】3.7% 【達成率】86.0%(B評価)</p> <p>東根市負担額 【目標値】5,477千円 【実績値】5,337千円 【達成率】102.6%(A評価)</p>	定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。
山交バス株式会社	休石線(公立病院経由)	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、感染防止対策に配慮した運行を行う。また、定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止に配慮した運行を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>年間利用者数 【目標値】年間4,192人 【実績値】年間3,976人 【達成率】94.8%(B評価)</p> <p>収支率 【目標値】9.2% 【実績値】8.9% 【達成率】96.7%(B評価)</p> <p>東根市負担額 【目標値】3,879千円 【実績値】3,888千円 【達成率】99.8%(B評価)</p>	定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。
山交バス株式会社	北部循環線	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、感染防止対策に配慮した運行を行う。また、定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止に配慮した運行を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>年間利用者数 【目標値】年間2,074人 【実績値】年間2,420人 【達成率】116.7%(A評価)</p> <p>収支率 【目標値】4.9% 【実績値】7.2% 【達成率】146.9%(A評価) 目標値を大きく上回った。目標値の設定が適正か検討し、次年度以降反映していく。</p> <p>東根市負担額 【目標値】2,985千円 【実績値】2,746千円 【達成率】108.7%(A評価)</p>	定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス株式会社	河北線	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、感染防止対策に配慮した運行を行う。また、定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止に配慮した運行を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>年間利用者数 【目標値】年間10,688人 【実績値】年間8,271人 【達成率】77.4%(C評価) 通学時に当該路線を利用する生徒の減少に伴い、利用者数が減少したと思われる。</p> <p>収支率 【目標値】27.6% 【実績値】20.8% 【達成率】75.4%(C評価) 通学時に当該路線を利用する生徒の減少に伴い、利用者数が減少したと思われる。</p> <p>東根市負担額 【目標値】2,653千円 【実績値】3,238千円 【達成率】81.9%(B評価)</p>	定期的にご利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。
山交バス株式会社	荷口神町東根線	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、感染防止対策に配慮した運行を行う。また、定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止に配慮した運行を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>年間利用者数 【目標値】年間423人 【実績値】年間440人 【達成率】104.0%(A評価)</p> <p>収支率 【目標値】1.6% 【実績値】4.4% 【達成率】275.0%(A評価) 収支率が目標値を大きく上回った。目標値の設定が適正か検討し、次年度以降反映していく。</p> <p>東根市負担額 【目標値】1,644千円 【実績値】1,571千円 【達成率】104.6%(A評価)</p>	定期的にご利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山交バス株式会社	中央循環東根線	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、感染防止対策に配慮した運行を行う。また、定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止に配慮した運行を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>年間利用者数 【目標値】年間315人 【実績値】年間403人 【達成率】127.9%(A評価)</p> <p>収支率 【目標値】5.6% 【実績値】2.5% 【達成率】33.7%(C評価)</p> <p>時間に融通の利く自家用車の利用が多いことや、コロナ禍で減少した利用者数が回復しないことが影響していると考えられる。</p> <p>東根市負担額 【目標値】1,056千円 【実績値】1,052千円 【達成率】100.4%(A評価)</p>	定期的に利用目的調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。
山交バス株式会社	河北病院(稲下)公立病院線	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した更なる改善策の検討・実施・検証を行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 地域のニーズを踏まえた運行ダイヤ・便数の検討を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>年間利用者数 【目標値】年間9,691人 【実績値】年間8,257人 【達成率】85.2%(B評価)</p> <p>収支率 【目標値】19.7% 【実績値】15.1% 【達成率】76.6%(C評価)</p> <p>新型コロナウイルス及び定期外の利用者減少が要因と思われる。</p> <p>負担額 【目標値】負担額:674千円 【実績値】負担額:696千円 【達成率】負担額:96.8%(B評価)</p>	利用者数の減少により、令和6年3月31日にて廃線。
山交バス株式会社	公立病院(大石田)尾花沢線	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した更なる改善策の検討・実施・検証を行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 地域のニーズを踏まえた運行ダイヤ・便数の検討を行った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>年間利用者数 【目標値】年間14,620人 【実績値】年間12,494人 【達成率】:85.4%(B評価)</p> <p>収支率 【目標値】30.7% 【実績値】26.3% 【達成率】85.6%(B評価)</p> <p>負担額 【目標値】負担額455千円 【実績値】負担額:490千円 【達成率】負担額:92.8%(B評価)</p>	地域のニーズを踏まえた運行ダイヤ・便数の検討を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
株式会社東根交通 株式会社神町タクシー	デマンド型乗合タクシー ・泉郷地域 ・沼沢・猪野沢地域	<p>【前回の評価結果】 新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、感染防止対策に配慮した運行を行う。また、利用者へのアンケート調査を実施し、利用者のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止に配慮した運行を行った。また、アンケート調査を実施し、利用者のニーズ把握に努めた。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 年間利用者数 【目標値】年間300人 【実績値】年間418人 【達成率】139.3%(A評価) 年間利用者数が目標値を大きく上回ったが、R3.10に運行区域を拡大した影響と考えられる。 収支率 【目標値】12.1% 【実績値】14.8% 【達成率】122.3%(A評価) 東根市負担額 【目標値】420千円 【実績値】695千円 【達成率】60.4%(C評価) 目標値を大きく下回ったが、運行時間が長いほど、また、乗合率が低いほどコスト効率が低下することにより支出額が増加したためと考えられる。	定期的に利用者へのアンケート調査を実施し、地域のニーズを踏まえた運行路線等の見直しを行っていく。また、制度の周知をはかる。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(東根市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>東根市は山形県の中央部、村山盆地に位置し、面積は206.94平方キロメートルで県内8番目に広く、人口総数は47,738人(令和5年3月末現在)の自然豊かな田園都市であり、山形新幹線さくらんぼ東根駅や山形空港が所在する県内交通の要衝である。</p> <p>中山間地域等の世帯数及び人口の減少から路線バスの廃止に伴い、路線バスを継承する形で交通の空白地帯の解消と交通弱者の足の確保のため、平成11年度から東根市市民バスの運行を行ってきた。</p> <p>近年、市南部の神町地域においては、土地区画整理事業・宅地分譲による居住地域の拡大、新規道路の開通などにより人口増加など大きく様変わりをしている。</p> <p>さらに、さくらんぼ東根駅を中心に商業施設、医療機関、公共施設の設置など中心市街地が形成されていることから、中山間地域の交通弱者への対策とともに東根・神町地域をつなぐ交通手段の充実が求められている。</p> <p>このことから、地域公共交通確保維持事業により、市民バス全路線及びデマンド型乗合タクシーの確保・維持することで、市民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。また、本事業の対象路線・サービスが接続する地域間交通ネットワークの維持・強化を図っていく必要がある。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(尾花沢市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
尾花沢市	南沢線	<p>【前回の評価結果】 目標が達成できていない状況ですが、新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後のさらなる改善策の検討・実施・検証を行っていくことを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】 コロナ禍が収束後も、利用者数が回復しない理由を多角的分析し、今後の公共交通再編に反映させて検討を始めている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>●利用者数 【目標値】年間34,000人 【実績値】年間19,171人 【達成率】56.4%(C評価)</p> <p>●収支率 【目標値】0.7% 【実績値】0.4% 【達成率】57.1%(C評価)</p> <p>●尾花沢市負担 【目標値】5,000万円 【実績値】5,100万円 【達成率】98.0%(B評価)</p> <p>・主に路線バス利用者であった高齢者、特に高齢女性の免許所持率が、年々高くなっていること。(尾花沢市の特徴:団塊の世代より前は女性の免許所持率が低かった。)タクシー補助「おもしろタクシー券」の拡充により月1回程度の需要はタクシーに移行していること。これらの理由により利用者数は減少している。</p>	主たる利用者である高齢者のニーズ把握に努めるとともに、路線バスとタクシーによる公共交通を、需要に合わせて最適に提供できるよう検討する。
尾花沢市	鶴子線		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。		主たる利用者である高齢者のニーズ把握に努めるとともに、路線バスとタクシーによる公共交通を、需要に合わせて最適に提供できるよう検討する。
尾花沢市	市野々線		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。		主たる利用者である高齢者のニーズ把握に努めるとともに、路線バスとタクシーによる公共交通を、需要に合わせて最適に提供できるよう検討する。
尾花沢市	毒沢線		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。		主たる利用者である高齢者のニーズ把握に努めるとともに、路線バスとタクシーによる公共交通を、需要に合わせて最適に提供できるよう検討する。
株式会社尾花沢タクシー	生活交通タクシー補助		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。		主たる利用者である高齢者のニーズ把握に努めるとともに、電子タクシー券の普及や電子化に合わせた制度設計など改善を行う。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(尾花沢市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	尾花沢市は山形県の北東部の山間地域に位置し、面積は372.53km ² で、人口は約1万4300人、短い日照時間と低温、多湿、多雪のため、春の融雪が遅く、農耕期間が短いのが尾花沢盆地の特徴です。冬の季節風が月山や御所山等の稜線にさえぎられ、雪を多く降らせるため、平野部でも積雪量が2mに及ぶことがある豪雪地帯です。人口減少・高齢化が進展しており、比例して交通弱者も増加しているが、路線バスなどの公共交通利用者は少ないため、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、中でも、高齢者や学生の足の確保を主たる目的とし、「域内の主要集落から、総合病院・高校への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名： 山形県(南陽市)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社赤湯観光タクシー 株式会社やまばと観光ハイヤー 辻自動車株式会社 宮内南陽タクシー有限公司	おきタク	<p>【前回の評価結果】 ①年間利用者数及び②南陽市負担額については概ね目標値を達成。③収支率については算定に誤りがあり達成率77%としたが、正しくは収支率40.3%(達成率100.1%)であり概ね目標を達している。</p> <p>【評価結果の反映状況】 引き続き、計画に位置づけられたとおり、適切な実施を図る。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B ①年間利用者数 【目標値】3,000人以上/年 【実績値】3,955人/年 【達成率】131.8% 【評価】A 地域への浸透・定着が図られ、利用する高齢者の外出頻度も増加している。 ②南陽市負担額 【目標値】200万円 【実績値】274万円 【達成率】73% 【評価】C 利用便数の増加に伴う経費増加のため市負担額が増加しているが、国庫補助金・県補助金の充当により財源の安定化が図られている。(目標値の再設定についても精査すべき) ③収支率 【目標値】40.0% 【実績値】38.8% 【達成率】97.0% 【評価】B タクシー運賃改定によりメーター額が増加。自己負担額(利用料金)を現状のまま維持したこともあり収支率は低下している。 総合評価の方法 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上:C評価、その他:B評価	今後さらなる利用増加が見込まれるところであり、運賃改定に伴う経費上昇もあって運行経費は増加傾向にある。持続可能な運行に向け、必要財源の安定化と負担構造の見直しを進めていく必要がある。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(南陽市)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>南陽市は総面積約160.52km²、人口29,856人(R5.1.1現在)で、県南部の置賜盆地に位置している。地域公共交通としては、市内コミュニティバス3路線、フラワー長井線、タクシー事業者4社が市内の公共交通を担っている。誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。</p> <p>長らく公共交通空白地域であった沖郷地区では、令和元年度に乗用タクシーを活用した「おきタク」の運行を開始し、高齢者の日常の移動手段を支える、公民連携の取組を行っている。</p> <p>誰もが安心して住み続けられるための持続可能な生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 6年 1月30日

協議会名: 山形県(山辺町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山辺町	やまのベコミュニティバス 東西線 時計回り	<p>【前回の評価結果】 アンケート調査によって得られたデータを活用し、ニーズにあった運行形態を検討する。 引き続きバスの管理運営を行う指定管理者と協議しながら、使用促進策を実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 山辺町地域公共交通会議及びバス利用者、公募委員、地域代表等を参集してバス懇話会を実施、ニーズにあった運行形態の検討を行った。 広報活動として、高齢者健康教室での8回のPR活動、GTFS-JPの適時適切な更新、地元新聞への時刻表冊子の折込等、新たなバス利用者になりうる世代への利用促進の取組みを展開した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 【年間利用者数】 目標: 2,500人 実績: 1,283人 達成率: 51.32%	<p>広報活動を通じて新たなバス利用者になりうる世代への利用促進を展開するとともに、アンケート調査によって得られたデータを活用し、利用者のニーズにあった運行形態の導入を図っていく。</p> <p>また、バスの運営を行う指定管理者と協議しながら、利用促進策の実施を図っていく。</p>
				C 【収益率】 目標: 16.0% 実績: 7.84% 達成率: 49.00%	
				C 【町負担額】 目標: 800千円 実績: 1,046千円 達成率: 76.48%	
				<p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復していない。利用者のニーズにあった運行形態の導入をすすめていく。 また、燃油価格高騰等による運行費用の増加も収益率の低下及び町負担額の増加に影響している。</p>	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山辺町	やまのベコミュニティバス 東西線 反時計回り	<p>【前回の評価結果】 アンケート調査によって得られたデータを活用し、ニーズにあった運行形態を検討する。 引き続きバスの管理運営を行う指定管理者と協議しながら、使用促進策を実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 山辺町地域公共交通会議及びバス利用者、公募委員、地域代表等を参集してバス懇話会を実施、ニーズにあった運行形態の検討を行った。 広報活動として、高齢者健康教室での8回のPR活動、GTFS-JPの適時適切な更新、地元新聞への時刻表冊子の折込等、新たなバス利用者になりうる世代への利用促進の取組みを展開した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【年間利用者数】 目標: 2,200人 実績: 1,366人 達成率: 62.09%</p> <p>【収益率】 目標: 15.0% 実績: 8.39% 達成率: 55.93%</p> <p>【町負担額】 目標: 810千円 実績: 1,035千円 達成率: 78.26%</p> <p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復していない。利用者のニーズにあった運行形態の導入をすすめていく。 また、燃油価格高騰等による運行費用の増加も収益率の低下及び町負担額の増加に影響している。</p>	<p>広報活動を通じて新たなバス利用者になりうる世代への利用促進を展開するとともに、アンケート調査によって得られたデータを活用し、利用者のニーズにあった運行形態の導入を図っていく。 また、バスの運営を行う指定管理者と協議しながら、利用促進策の実施を図っていく。</p>
山辺町	やまのベコミュニティバス 南北線 時計回り	<p>【前回の評価結果】 アンケート調査によって得られたデータを活用し、ニーズにあった運行形態を検討する。 引き続きバスの管理運営を行う指定管理者と協議しながら、使用促進策を実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 山辺町地域公共交通会議及びバス利用者、公募委員、地域代表等を参集してバス懇話会を実施、ニーズにあった運行形態の検討を行った。 広報活動として、高齢者健康教室での8回のPR活動、GTFS-JPの適時適切な更新、地元新聞への時刻表冊子の折込等、新たなバス利用者になりうる世代への利用促進の取組みを展開した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【年間利用者数】 目標: 1,800人 実績: 1,241人 達成率: 68.94%</p> <p>【収益率】 目標: 11.0% 実績: 6.90% 達成率: 62.72%</p> <p>【町負担額】 目標: 1,000千円 実績: 1,206千円 達成率: 82.91%</p> <p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復していない。利用者のニーズにあった運行形態の導入をすすめていく。 また、燃油価格高騰等による運行費用の増加も収益率の低下及び町負担額の増加に影響している。</p>	<p>広報活動を通じて新たなバス利用者になりうる世代への利用促進を展開するとともに、アンケート調査によって得られたデータを活用し、利用者のニーズにあった運行形態の導入を図っていく。 また、バスの運営を行う指定管理者と協議しながら、利用促進策の実施を図っていく。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山辺町	やまのベコミュニティバス 南北線 反時計回り	<p>【前回の評価結果】 アンケート調査によって得られたデータを活用し、ニーズにあった運行形態を検討する。 引き続きバスの管理運営を行う指定管理者と協議しながら、使用促進策を実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 山辺町地域公共交通会議及びバス利用者、公募委員、地域代表等を参集してバス懇話会を実施、ニーズにあった運行形態の検討を行った。 広報活動として、高齢者健康教室での8回のPR活動、GTFS-JPの適時適切な更新、地元新聞への時刻表冊子の折込等、新たなバス利用者になりうる世代への利用促進の取組みを展開した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>C 【年間利用者数】 目標:1,600人 実績:1,139人 達成率:71.18%</p> <p>C 【収益率】 目標:10.0% 実績:6.34% 達成率:63.40%</p> <p>B 【町負担額】 目標:1,020千円 実績:1,216千円 達成率:83.88%</p> <p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復していない。利用者のニーズにあった運行形態の導入をすすめていく。 また、燃油価格高騰等による運行費用の増加も収益率の低下及び町負担額の増加に影響している。</p>	<p>広報活動を通じて新たなバス利用者になりうる世代への利用促進を展開するとともに、アンケート調査によって得られたデータを活用し、利用者のニーズにあった運行形態の導入を図っていく。 また、バスの運営を行う指定管理者と協議しながら、利用促進策の実施を図っていく。</p>
山辺町	やまのベコミュニティバス 中作線	<p>【前回の評価結果】 アンケート調査によって得られたデータを活用し、ニーズにあった運行形態を検討する。 引き続きバスの管理運営を行う指定管理者と協議しながら、使用促進策を実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 山辺町地域公共交通会議及びバス利用者、公募委員、地域代表等を参集してバス懇話会を実施、ニーズにあった運行形態の検討を行った。 広報活動として、高齢者健康教室での8回のPR活動、GTFS-JPの適時適切な更新、地元新聞への時刻表冊子の折込等、新たなバス利用者になりうる世代への利用促進の取組みを展開した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>C 【年間利用者数】 目標:1,800人 実績:1,309人 達成率:72.72%</p> <p>C 【収益率】 目標:8.0% 実績:4.65% 達成率:58.12%</p> <p>A 【町負担額】 目標:2,460千円 実績:2,092千円 達成率:117.59%</p> <p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復していない。利用者のニーズにあった運行形態の導入をすすめていく。 また、燃油価格高騰等による運行費用の増加も収益率に影響している。</p>	<p>広報活動を通じて新たなバス利用者になりうる世代への利用促進を展開するとともに、アンケート調査によって得られたデータを活用し、利用者のニーズにあった運行形態の導入を図っていく。 また、バスの運営を行う指定管理者と協議しながら、利用促進策の実施を図っていく。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)								
山辺町	やまのベコミュニティバス デマンドバス	<p>【前回の評価結果】 アンケート調査によって得られたデータを活用し、ニーズにあった運行形態を検討する。 引き続きバスの管理運営を行う指定管理者と協議しながら、使用促進策を実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 山辺町地域公共交通会議及びバス利用者、公募委員、地域代表等を参集してバス懇話会を実施、ニーズにあった運行形態の検討を行った。 広報活動として、高齢者健康教室での8回のPR活動、GTFS-JPの適時適切な更新、地元新聞への時刻表冊子の折込等、新たなバス利用者になりうる世代への利用促進の取組みを展開した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1493 278 1531 388">C</td> <td data-bbox="1531 278 1881 388">【年間利用者数】 目標: 1,600人 実績: 1,192人 達成率: 74.50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1493 388 1531 497">C</td> <td data-bbox="1531 388 1881 497">【収益率】 目標: 15.0% 実績: 11.33% 達成率: 75.53%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1493 497 1531 606">B</td> <td data-bbox="1531 497 1881 606">【町負担額】 目標: 3,250千円 実績: 4,042千円 達成率: 80.40%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1493 606 1881 853"> <p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復していない。利用者のニーズにあった運行形態の導入をすすめていく。 また、燃油価格高騰等による運行費用の増加も収益率の低下及び町負担額の増加に影響している。</p> </td> </tr> </table>	C	【年間利用者数】 目標: 1,600人 実績: 1,192人 達成率: 74.50%	C	【収益率】 目標: 15.0% 実績: 11.33% 達成率: 75.53%	B	【町負担額】 目標: 3,250千円 実績: 4,042千円 達成率: 80.40%	<p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復していない。利用者のニーズにあった運行形態の導入をすすめていく。 また、燃油価格高騰等による運行費用の増加も収益率の低下及び町負担額の増加に影響している。</p>		<p>広報活動を通じて新たなバス利用者になりうる世代への利用促進を展開するとともに、アンケート調査によって得られたデータを活用し、利用者のニーズにあった運行形態の導入を図っていく。 また、バスの運営を行う指定管理者と協議しながら、利用促進策の実施を図っていく。</p>
C	【年間利用者数】 目標: 1,600人 実績: 1,192人 達成率: 74.50%												
C	【収益率】 目標: 15.0% 実績: 11.33% 達成率: 75.53%												
B	【町負担額】 目標: 3,250千円 実績: 4,042千円 達成率: 80.40%												
<p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復していない。利用者のニーズにあった運行形態の導入をすすめていく。 また、燃油価格高騰等による運行費用の増加も収益率の低下及び町負担額の増加に影響している。</p>													

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月30日

協議会名:	山形県(山辺町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	山辺町は山形県の南東部、県都・山形市に隣接しており、人口は13,717人(令和4年10月末現在)である。居住エリアとしては、平野部と山間部に分かれている。近年の人口減少、高齢化の急速な進展により、民間路線バスの撤退が進み、公共交通空白域が生じ、町域の約77%は交通不便地域である。暮らしを支える身近な足として公共交通の維持・確保は、今後とも継続して取り組む課題である。特に①生活交通空白域の縮小②JR等地域間交通ネットワークとの接続充実③学生、高齢者等の移動困難者に対する日常移動手段の確保を主たる目的として、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(路線型、デマンド型)を維持・確保しつつ、利用者ニーズを反映した生活交通ネットワークの構築を進めていく必要がある。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(河北町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社葉山タクシー	河北町営路線バス(東根線)	<p>【前回の評価結果】 全戸配布や町HPへの掲載などの利用者への周知により、年間利用者数は目標を達成することが出来た。収支率・負担額については河北町営路線バスの車両更新による支出増のため、目標達成とならなかった。引き続き利用者の拡大と経費の見直しに努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 全戸配布や町HPへの掲載のほか、GTFS-JPデータの提供などにより周知を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <p>年間利用者数 【目標値】年間8,700人 【実績値】年間9,222人 【達成率】106.00%(A評価)</p> <p>収支率 【目標値】9.47%以上 【実績値】8.52% 【達成率】89.91%(B評価)</p> <p>負担額 【目標値】7,538千円 【実績値】10,592千円 【達成率】59.49%(C評価)</p> <p>年間利用者数については目標を達成することができたが、収支率・負担額については目標を下回った。河北町営路線バス運行のための車両を更新したため、予定より支出が大きくなったことが原因である。</p> <p>※東根線の評価は各目標の評価を踏まえて以下により決定 「Aが2つ以上;A評価、Cが2つ以上;C、その他;B」</p>	河北町営路線バスの年間利用者数については、更なる周知とニーズに合わせた運行路線の見直しを実施することにより、利用者の拡大を図っていく。 収支率・負担額については、必要経費の見直しにより町民のニーズに答えながらも、効率的な運営を行うことにより支出の削減を図っていく。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(河北町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>河北町は山形県のほぼ中央、最上川と寒河江川に囲まれた場所に位置し、面積は52.45平方キロメートル(東西8km、南北11km)と比較的コンパクトにまとまった町です。令和5年3月末現在で人口は17,250人(男:8,461人、女:8,789)、高齢化率は38.48%、世帯数は6,330世帯となっています。</p> <p>近年では人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線撤退が決定されるなど、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にあります。しかしながら、安心・安全な町づくりのためには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠です。その一環として、中でも、高齢者や学生の足の確保を主たる目的とし、「町の中心部から、学校・病院等への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 6年 1月30日

協議会名: 山形県(西川町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>月山観光タクシー(株)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大井沢ルート ・小山ルート ・岩根沢・小沼ルート ・東部エリア 	<p>令和5年度新規事業のため、前回事業評価なし。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C</p> <p>年間利用者数 【目標値】106人 【実績値】1,298人 【達成率】1224.45% (A評価)</p> <p>収支率 【目標値】42.6%以上 【実績値】2.44% 【達成率】5.72% (C評価)</p> <p>負担額 【目標値】6,830千円 【実績値】6,719千円 【達成率】101.62% (A評価)</p> <p>年間利用者数・負担額については目標を達成することができた。収支率については目標を大幅に下回った。長い移動距離を要する地域の利用者が増加していること等から、目標を達成できなかった。</p> <p>なお、初年度ということもあり、運行実績が計画運行回数の30%を下回ったため、全体としてC評価となる。今回の実績を踏まえ、次期計画の運行回数(サービスレベル)を精査する</p>	<p>令和5年度から、午後便の追加、目的地の追加を行い利用促進に努めたが、見込んだ目標に達しなかったものである。今後、利用者のニーズを把握し、運行の見直しを検討しながら、広く周知し、さらなる利便性の向上を図る。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月30日

協議会名:	山形県(西川町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>西川町は山形県のほぼ中央、県都山形市の西方32kmに位置しており、磐梯朝日国立公園の朝日連峰や月山とその支脈に囲まれている。総面積の95%が山地で占められ、平地は町を流れる寒河江川沿いとその支流沿いにわずかに広がっており、可住地面積は12.57km(3.2%)である。</p> <p>自家用車を主要な移動手段とする住民が大半であるが、人口減少・高齢化が著しく進展しており、身体的に将来の移動手段に不安を感じている人が多い。誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。</p> <p>西川町では、令和4年10月から町内全域でデマンド型乗合タクシーの本格運行を開始した。高齢者を中心とした住民の通院や買い物等、日常生活の移動手段を確保維持するため、利用者のニーズを把握しながら利便性の向上に向け検討を行っていく。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(朝日町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
朝日町	(乗合バス型) 朝日町・山形市間 直行バス(朝便) 朝日町・山形市間 直行バス(夜便)	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生へ向けて利用促進のダイレクトメールの郵送を行ったり、一般の町民へ向けても広報誌やホームページ等で周知を行い、利用者の増加を図る。 ・アンケート調査を行い、より利便性向上に繋がる。 ・運行時間帯やダイヤの改正等を検討する。 <p>安心して乗車いただけるよう、車内の消毒、換気を徹底する。</p> <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知等については評価結果のとおり反映することができた。 ・アンケート調査については、実施することはできたが、まだ具体的な方針は決まっていない。 ・消毒・換気については徹底し行うことができた。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【年間利用者数】 目標8,758人/12か月(朝便と夜便の合算)に対して、10,044人/12か月であった。(達成率114.7%) 休校等緊急事態宣言に伴う外出自粛がなかったことから、令和4年度実績9,075人と比較し、969人の増となった。	<p>広報誌や促進用のチラシ等を作成し、町民へ周知徹底し利用者増加を図っていく。</p> <p>安心して乗車いただけるよう、車内の消毒、換気を徹底する。</p> <p>利便性向上に向けたアンケートを行ったため、その結果から意見集約や関係機関との協議・検討を継続して行っていく。</p>
				A 【収支率】 目標12%に対して、朝便・夜便ともに30.7%であった。(達成率255.8%) 車両の修繕が多かったことや代替運転の委託料を値上げしたものの、大きな支出や備品購入などがなく利用料の収入が前年度より多かつたこともあり、目標を達成することができた。	
				B 【朝日町負担額】 目標6,700千円(朝便と夜便の合算)に対して、7,303千円であった。(達成率91.7%) 修繕料が高んだり国庫補助の上限額減額などから、目標を達成することができなかった。	
朝日町	(デマンド型) 朝日町内	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌や促進用のチラシ等を作成し、町民へ周知徹底し利用者増加を図っていく。 ・安心して乗車いただけるよう、車内の消毒、換気を徹底する。 ・利用可能エリアの拡大に向け、アンケートを通しての意見集約や、関係機関との協議・検討を継続して行っていく。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知の徹底ができた。 ・消毒・換気も徹底して行うことができた。 ・アンケートでの意見収集は行わなかったが、関係機関との協議等を重ね、具体的な話までできた。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【年間利用者数】 目標10,674人/12か月に対して、9,817人/12か月であった。(達成率92%) 高齢者の自然減少や高齢者ドライバーの増加が利用者減少に繋がり、令和4年度実績9,916人と比較し99人の減となった。	<p>広報誌や促進用のチラシ等を作成し、町民へ周知徹底し利用者増加を図っていく。</p> <p>安心して乗車いただけるよう、車内の消毒、換気を徹底する。</p> <p>利用可能エリアの拡大に向け、アンケートを通しての意見集約や、関係機関との協議・検討を継続して行っていく。</p>
				B 【収支率】 目標10%に対して、9.6%であった。(達成率96%) 利用料の収入が前年度より多かつたが、燃料費の高騰などもあり、目標を達成することができなかった。	
				B 【朝日町負担額】 目標13,000千円に対して、14,130千円であった。(達成率92%) 利用者減少による収入額の減や燃料費の高騰などから、目標を達成することができなかった。	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(朝日町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>朝日町は、176.73平方キロメートルの町土を有し、山形県の中心部、磐梯朝日国立公園の主峰・大朝日岳の東縁山麓地域に位置し、最上川が町を北流している。</p> <p>町内の公共交通機関は、鉄道は走っておらず、山交バスの路線(寒河江駅～柴橋～左沢駅前～大谷～朝日町役場前)が運行している。</p> <p>町内には公共交通空白地域が3カ所あり、さらに集落が分散しているため、路線バス等で全てのニーズに対応するのは困難な状況にある。</p> <p>当町における現状の交通実態をみると、特に鉄道が走っていないためマイカー中心のライフスタイルが進み、移動において自家用自動車に依存する割合が非常に高くなっている。その結果、公共交通の利用者は年々減少し、バス路線の廃止・減便などにより自動車運転が出来ない子どもや高齢者の利便性が低下するという問題が発生している。一方、高齢化の急速な進展、核家族化による高齢者のみ世帯の増加により、今後自家用自動車に頼ることができない町民が増加することが予想される。</p> <p>朝日町の公共交通網の整備を図るにあたり、公共交通網を利用者のニーズや地理的状况に合わせ、町内における町民の足の確保としての「町内ルート」と、周辺市町や山形市など町外とのアクセスを意識した「広域ルート」に整理し、「町内ルート」については『デマンド型交通』、「広域ルート」は『朝日町・山形市間直行バス』を中心に、既存の公共交通と連携し相乗効果を創出したい。また、朝日町は県内トップレベルの高齢化率であり、高齢者が安心安全に目的地間を往来できるよう検討すると同時に、雨風や雪対策としてバスの待合所等の環境の改善を進め、利用者に優しい公共交通となるよう事業を展開する。</p> <p>町民の誰もが安心安全に移動できる公共交通網・環境の整備を進めている。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(大江町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大江町	大江町営バス 柳川線	<p>【前回の評価結果】 JR左沢線、山交バス寒河江・宮宿線の基幹交通への乗り継ぎのため、ダイヤ改正等の取り組みを通して利用促進を図る。</p> <p>【評価結果の反映状況】 左沢線のダイヤ改正に伴い、町営バスのダイヤ改正を実施し、広報紙やホームページ等を活用した周知のほか、県及び近隣自治体との連携のもと、西村山地域の広域的な公共交通マップをリニューアルし、乗り継ぎ等の情報を更新した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>○利用者数 【目標】年間15,000人 【実績】年間13,134人 【達成率】87.5% 【達成状況】B</p> <p>○収支率 【目標】年間6.5% 【実績】年間7.6% 【達成率】85.5% 【達成状況】B</p> <p>○負担額 【目標】年間13,000千円 【実績】年間12,999千円 【達成率】99.9% 【達成状況】B</p> <p>目標には達成できなかったが、新型コロナウイルスの影響等が緩和されたことにより、利用者が増加傾向となっている。</p>	引き続き、JR左沢線、山交バス寒河江・宮宿線の基幹交通への乗り継ぎのため、ダイヤ改正や利用者への周知等の取り組みを通して利用促進を図る。
(有)朝日タクシー等	大江町乗り合いタクシー 西、中、東	<p>【前回の評価結果】 指定目的地や区域の追加検討を通じて、高齢者等が利用しやすい交通体系の構築を図る。</p> <p>【評価結果の反映状況】 従来、区域の追加要望のあった地区の追加を行い、住民ニーズに沿った交通体系の構築に努めた。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>○利用者数 【目標】年間3,500人 【実績】年間3,217人 【達成率】91.9% 【達成状況】B</p> <p>○収支率 【目標】年間6.0% 【実績】年間7.2% 【達成率】83.3% 【達成状況】B</p> <p>○負担額 【目標】年間6,100千円 【実績】年間6,334千円 【達成率】96.3% 【達成状況】B</p> <p>目標には達成できなかったが、新型コロナウイルスの影響等が緩和されたことにより、利用者が増加傾向となっている。</p>	指定目的地や区域の追加検討を引き続き進め、高齢者等が利用しやすい交通体系の構築を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(大江町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>大江町は、山形県のほぼ中央部、山形盆地の西部に位置し、月布川を中心に東西24km、南北16kmの東西に細長い地形となっている。面積は154.08km²で、4分の3が山林で、気候は内陸型で積雪寒冷地帯に属し、積雪期間は3~5ヶ月間、積雪量は町の中心部で1m前後、山間部は2~3mに達し特別豪雪地帯に指定されている。人口は、昭和50年の11,801人と比較して、令和2年には7,646人となり、35.2%減少した。</p> <p>近年では、人口減少・高齢化が著しく進展しており、誰もが安心して暮らせる地域づくりのためには、安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠となっている。その一環として、高齢者や学生の足の確保を主たる目的とし、町内の各集落から、町中心部への移動手段を確保するために地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(路線型・デマンド型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(最上町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
最上町	運行系統(営業区域) ・東エリア(赤倉塚田方面) (最上町)	<p>【前回の評価結果】 効果的にダイヤ改正や宣伝活動等を実施するため地域のニーズをしっかりと把握するとともに、新規需要の掘り起こしや更なる利用促進が図られることを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】 年度当初に継続して全戸にチラシと登録申請書を配布し、更なる需要の掘り起こしを行っている。また、利用者からのニーズの把握のため乗車時の意見の収集に努めている。実績としては変更やキャンセルについては30分前までとしている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標値】 利用者数:3,500人以上 収支率:6%以上 最上町負担額:5,484千円</p> <p>【実績値】 利用者数:2,916人 収支率:9.29% 最上町負担額:5,069千円</p> <p>【達成率】115%</p> <p>利用者数 B 収支率 A 最上町負担額 A</p> <p>利用者数については夏場の猛暑で外出を控えたところが大きかった。</p>	東エリア(満沢方面)と同じ車両で運行を行っている。利用者が年々増加しているため、運行ダイヤについて検討をおこない利便性の向上を図る必要がでてくる。
最上町	運行系統(営業区域) ・東エリア(満沢方面)(最上町)	<p>【前回の評価結果】 効果的にダイヤ改正や宣伝活動等を実施するため地域のニーズをしっかりと把握するとともに、新規需要の掘り起こしや更なる利用促進が図られることを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】 年度当初に継続して全戸にチラシと登録申請書を配布し、更なる需要の掘り起こしを行っている。また、利用者からのニーズの把握のため乗車時の意見の収集に努めている。実績としては変更やキャンセルについては30分前までとしている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標値】 利用者数:750人以上 収支率:6%以上 最上町負担額:784千円</p> <p>【実績値】 利用者数:1,200人 収支率:9.29% 最上町負担額:2,090千円</p> <p>【達成率】125%</p> <p>利用者数 A 収支率 A 最上町負担額 B</p> <p>東エリア(満沢方面)の運行について、令和4年2月から1回の乗車時間が長くなることと、冬期間に一部で悪天候での通行止めが発生することから、東エリアの分割を行い運行を開始している。その効果が見え、昨年度よりも600人以上の増加となっているのでこれを継続していく。</p>	東エリア(赤倉塚田方面)と同じ車両で運行を行っている。利用者が年々増加しているため、運行ダイヤについて検討をおこない利便性の向上を図る必要がでてくる。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
最上町	運行系統(営業区域) ・前森黒沢エリア、月楯萱場エリア(最上町) ・車両減価償却費等国庫補助金 小型車両1台	<p>【前回の評価結果】 効果的にダイヤ改正や宣伝活動等を実施するため地域のニーズをしっかりと把握するとともに、新規需要の掘り起こしや更なる利用促進が図られることを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】 年度当初に継続して全戸にチラシと登録申請書を配布し、更なる需要の掘り起こしを行っている。また、利用者からのニーズの把握のため乗車時の意見の収集に努めている。実績としては変更やキャンセルについては30分前までとしている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標値】 利用者数:1,250人以上 収支率:6%以上 最上町負担額6,266千円</p> <p>【実績値】 利用者数:1,002人 収支率:2.04% 最上町負担額:8,017千円</p> <p>【達成率】87% 利用者数 B 収支率 B 最上町負担額 B</p> <p>営業区域内に、目的地である向町地区が入っているためか、向町地区の利用者が少ないため、利用者が伸び悩んでいる。利用者の大半が高齢者であるため、短距離でも便利に利用ができることを宣伝をおこない、利用者の増加を図る。</p>	運行エリアが、町の中心部である向町地区を含むエリアの為、他の系統と比べ利用者が少ない傾向にある。向町地区の住民に対し、宣伝活動等を行い、利用者数の増加を図る。
最上町	運行系統(営業区域) ・西エリア(最上町)	<p>【前回の評価結果】 効果的にダイヤ改正や宣伝活動等を実施するため地域のニーズをしっかりと把握するとともに、新規需要の掘り起こしや更なる利用促進が図られることを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】 年度当初に継続して全戸にチラシと登録申請書を配布し、更なる需要の掘り起こしを行っている。また、利用者からのニーズの把握のため乗車時の意見の収集に努めている。実績としては変更やキャンセルについては30分前までとしている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標値】 利用者数:2,500人以上 収支率:6%以上 最上町負担額:6,266千円</p> <p>【実績値】 利用者数:2,826人 収支率:7.52% 最上町負担額:7,591千円</p> <p>【達成率】108% 利用者数 A 収支率 A 最上町負担額 B</p> <p>令和3年8月より定時定路線型からデマンド型へ変更し運行を開始した。変更当初は、利用方法の変更により利用者が伸び悩んだが、利用に慣れてくるとともに利用者数の増加している。評判も良かったため、今後も宣伝活動をおこなう。</p>	住民からの評判も良く利用者数が日々増加している。運行エリアも広いため、効率の良い運行を行い利便性の向上を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(最上町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>最上町は、山形県北東部秋田県と宮城県との県境が接する山間地域に位置している。面積は330.24km²、人口は令和3年3月末にて8,204人となっており、65歳以上の高齢化率も40%となっている。</p> <p>本町の公共交通については、JR陸羽東線の駅が7つあり、地域の主要交通として重要な役割を担ってきた。その他には、民間のタクシーと町営のデマンドバスが運行しているが、人口減少にともない公共交通を利用する人が減少してきている。高齢化が進む中、移動手段について自家用車が主体となっているが、痛ましい高齢者の交通事故が多発する昨今、高齢者を始め公共交通を必要とする方へのきめ細かな対策は、ますます重要となる。特に高齢者の外出支援をはたす公共交通は生活インフラそのものと言える。</p> <p>令和3年度に町内全域でのデマンドバスの運行を開始し、町内高齢者を主体に、通院や買い物・交流の場への移動を支援し高齢者の外出を支援する主たる手段としての公共交通を確立していくところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(舟形町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社 星川タクシー	町外便 町内全域(舟形駅 経由)県立新庄病 院	<p>【前回の評価結果】 デマンドタクシーの利便性や利用方法について、広報誌などを利用して再度周知する。加えて、利用者のニーズを拾い上げ、利用しやすい公共交通に改善していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 デマンド型乗合システムの予約システムを構築中であり、これまで電話による予約しかできなかったものを、スマートフォンのアプリから予約できるようし、利便性の向上に繋がる取り組みを行なっている。 また、利用者アンケートを実施しており、利用者のニーズの拾い上げを行なっている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標値】 ①年間利用者数:2,000人以上 ②収支率:20%以上 ③町負担額:2,863千円</p> <p>【実績値】 ①年間利用者数:1,955人 ②収支率:14.6% ③町負担額:4,142千円</p> <p>【達成率】 ①97.8% (B評価) ②73.0% (C評価) ※③55.3% (C評価) ※100-(実績値③-目標値③)/目標値③*100</p> <p>利用者数の増加は、周知が進んだことにより、行き先は決まっているものの、町外の買い物をしたいという利用者が増加したことが要因と考えられる。</p> <p>※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 A評価:Aが2つ以上 C評価:Cが2つ以上 B評価:その他</p>	<p>高齢者への周知の強化と利用実績のない小・中学生といった潜在的な交通弱者の掘り起こしを行うことで利用者数の増加を目指す。 収支率の低下は、令和4年度から増便したことにより、利用者が分散し、1運行当たりの乗合数が下がったことが原因である。利用者数を増やすことで1運行当たりの乗合数の上昇＝収支率の改善と町負担額の減少が期待される。</p>
有限会社 星川タクシー	町内便 町内全域(長沢、舟形、長者原、富田、堀内) ・自治体広報による利用促進	<p>【前回の評価結果】 デマンドタクシーの利便性や利用方法について、広報誌などを利用して再度周知する。加えて、利用者のニーズを拾い上げ、利用しやすい公共交通に改善していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 デマンド型乗合システムの予約システムを構築中であり、これまで電話による予約しかできなかったものを、スマートフォンのアプリから予約できるようし、利便性の向上に繋がる取り組みを行なっている。 また、利用者アンケートを実施しており、利用者のニーズの拾い上げを行なっている</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標値】 ①年間利用者数:3,800人以上 ②収支率:18%以上 ③町負担額:3,389千円</p> <p>【実績値】 ①年間利用者数:2,290人 ②収支率:14.0% ③町負担額:1,650千円</p> <p>【達成率】 ①60.3% (C評価) ②77.8% (C評価) ※③151.3% (A評価) ※100-(実績値③-目標値③)/目標値③*100</p> <p>※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 A評価:Aが2つ以上 C評価:Cが2つ以上 B評価:その他</p>	<p>利用者の減少は、人口減少により利用者の絶対数が減少したことが大きいと考えられる。 収支率が低下したのは、利用者のうち、割安運賃を設定している障がい者の利用者が増加したことが主な理由である。 割安運賃の設定を変更する予定はないので、周知の強化と現在利用実績のない小・中学生といった潜在的な交通弱者の掘り起こし、便の増便などの検討を行うことで利用者数の増加を計り、目標値達成を目指す。</p>

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(舟形町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>舟形町は、山形県の東北部、最上郡の南端に位置し、南北6.5km、東西27.4kmと東西に細長い地形をした総面積119.04キロ平方メートルの町である。2020年の国勢調査によると、人口は5,007人である。</p> <p>町営バスの廃止と、高齢化や免許返納等により、自家用車での移動が困難になる町民の増加が見込まれている。また、買い物や通院等、生活するための移動手段の維持確保が必要とされている。デマンド型乗合タクシーにより、利便性の高い交通手段の確保と、公共交通空白地帯の交通手段の確保を目的とする。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(鮭川村)地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)新庄輸送サービス	・日下～真室川線	<p>【前回の評価結果】</p> <p>新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後のさらなる改善策の検討・実施・検証を行っていくこと。</p> <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>県立新庄病院が移転開業したことによるダイヤの変更等を行った。他の公共交通機関との接続も考慮し、今後も住民が使いやすい運行方法を検討する。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①利用者 【目標値】 年間1,700人 【実績値】 年間1,587人 【達成率】 93.4%(B評価)</p> <p>②負担額 【目標値】 5,666,508円 【実績値】 4,946,700円 【達成率】 114.6%(A評価)</p> <p>③収支率 【目標値】 2.0% 【実績値】 2.8% 【達成率】 140.0%(A評価)</p> <p>日下大芦沢線は2人/便未満と補助対象外となったためC評価とした。移動販売車が地域を回るようになったため、買い物客が減少したことが考えられる。</p>	区間によっては利用者がいないことも多いため、路線の改廃と予約制乗合バスの拡充を視野に入れて検討していく。
(株)新庄輸送サービス	・大芦沢～豊里駅線	<p>【前回の評価結果】</p> <p>新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後のさらなる改善策の検討・実施・検証を行っていくこと。</p> <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>県立新庄病院が移転開業したことによるダイヤの変更等を行った。他の公共交通機関との接続も考慮し、今後も住民が使いやすい運行方法を検討する。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①利用者 【目標値】 年間1,400人 【実績値】 年間1,258人 【達成率】 89.9%(B評価)</p> <p>②負担額 【目標値】 10,766,368円 【実績値】 9,398,730円 【達成率】 114.6%(A評価)</p> <p>③収支率 【目標値】 1.5% 【実績値】 1% 【達成率】 66.6%(C評価)</p> <p>大芦沢豊里線は1人/便と補助対象外となったためC評価とした。移動販売車が地域を回るようになったため、買い物客が減少したことが考えられる。また、予約制乗合バスの利用による減少も考えられる。</p>	区間によっては利用者がいないことも多いため、路線の改廃と予約制乗合バスの拡充を視野に入れて検討していく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)新庄輸送サービス	・羽根沢～新庄線	<p>【前回の評価結果】</p> <p>新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後のさらなる改善策の検討・実施・検証を行っていくこと。</p> <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>県立新庄病院が移転開業したことによるダイヤの変更等を行った。他の公共交通機関との接続も考慮し、今後も住民が使いやすい運行方法を検討する。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①利用者 【目標値】年間6,500人 【実績値】年間6,688人 【達成率】102.9%(A評価)</p> <p>②負担額 【目標値】11,899,671円 【実績値】10,388,070円 【達成率】114.6%(A評価)</p> <p>③収支率 【目標値】5.0% 【実績値】4.6% 【達成率】92.0%(B評価)</p> <p>※路線としての総合的な評価は、「Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上:C、その他:B」とした</p>	路線の維持継続及び他路線・鉄道等との接続について見直しを行う。
(株)新庄輸送サービス	・予約制乗合バス	<p>【前回の評価結果】</p> <p>新型コロナウイルスの影響以外の観点からも原因の分析に努め、当該分析に対応した今後のさらなる改善策の検討・実施・検証を行っていくこと。</p> <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>県立新庄病院が移転開業したことによるダイヤの変更等を行った。他の公共交通機関との接続も考慮し、今後も住民が使いやすい運行方法を検討する。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①利用者 【目標値】年間2,500人 【実績値】年間2,213人 【達成率】88.5%(B評価)</p> <p>②負担額 【目標値】18,888,365円 【実績値】16,341,500円 【達成率】115.6%(A評価)</p> <p>③収支率 【目標値】1.7% 【実績値】1.5% 【達成率】88.2%(B評価)</p> <p>移動販売車が地域を回るようになったため、買い物客の利用が減少したのではないかと考えられたため、うまく共存できる工夫が必要と思われる(運賃収入減により収支率も伸びず) ※路線としての総合的な評価は、「Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上:C、その他:B」とした</p>	路線の改廃に合わせ、デマンドバスの拡充を検討していく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(鮭川村)地域公共交通活性化会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>鮭川村は、山形県の北部、最上圏域北西部に位置し東西20km、南北12kmにわたる総面積122.14km²の農山村で、人口は3,902人(令和2年国勢調査時)。</p> <p>人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線はなく、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。</p> <p>その一環として、中でも、高齢者や学生の足の確保を主たる目的とし、「域内の主要集落から、総合病院・高校への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(戸沢村)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)戸沢観光タクシー	上松坂新庄線	令和5年度からの新規補助対象系統のため、前回事業評価なし。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B ①利用者数 【目標値】 75人以上 【実績値】 64人 【達成率】 85.3%(B評価) ②負担額 【目標値】 110,000円 【実績値】 113,120円 【達成率】 97.2%(B評価) ③収支率 【目標値】 26%以上 【実績値】 22.1% 【達成率】 85.0%(B評価) 週1回の運行に対し、毎回利用はあったものの、利用者が固定化しているため利用者数が伸びなかった。 路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A Cが2つ以上:C その他:B	利用者が固定化していることから、広報誌やホームページ等で広く周知し、新規登録者及び利用者の拡大を図る。 路線バスの見直しと合わせ、デマンドタクシーについても利用者のニーズに合った運行を検討していく。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(戸沢村)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>戸沢村は、山形県の北部の山間地域に位置し、東は新庄市、西は庄内町に隣接しており、東西18km、南北23kmに広がり面積は261.31km²。人口は減少し続け、令和5年11月末現在4,006人で高齢化率は43.3%となっている。</p> <p>対象路線の沿線地域はJRの駅から離れており、自家用車を持たない高齢者等にとっては、デマンド型乗合タクシーは通院や買い物のため生活圏である新庄市へ移動する唯一の手段となっている。デマンド型乗合タクシーにより、利便性の高い交通手段の確保と地域福祉の向上、地域の活性化に寄与することを目的とする。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(高島町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社羽山観光タクシー みつわタクシー有限公司 株式会社まほろば合同タクシー	高島町デマンド交通	<p>【前回の評価結果】 利用者数は前年比+8.2%と伸びた一方、年間運行収入は+0.7%の改善に留まったことから、町外から鉄道等を利用し来町する利用者等に対しPRを行い、更なる収支率改善を図る。</p> <p>【評価結果の反映状況】 JR高島駅の利用者に対する周知活動を実施し、ビジネス利用者の新規獲得につながっている。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>B</p> <p>①年間利用者数 【目標値】21,500人以上 【実績値】20,538人 【達成率】95.5%:B</p> <p>②収支率 【目標値】22%以上 【実績値】18.6% 【達成率】84.5%:B</p> <p>③町負担額 【目標値】年間負担額:23,000千円 【実績値】年間負担額:20,047千円 【達成率】114%:A</p> <p>新型コロナウイルスによる移動制限も無くなり、前年度から①年間利用者数が向上したものの、高齢化による減免利用者の割合も増加しており、収支率へは反映されていない状況にある。 ※系統としての評価は、各目標達成状況の平均よりB評価とする</p>	利用者数は前年比+4.2%と伸びた一方、収支率は▲0.7%となっていることから、町外から鉄道等を利用し来町する観光客やビジネス利用者等に対しPRを行うとともに、高騰する燃料費等の抑制に向けた経営改善により、収支率向上を図る。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(高島町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>高島町は山形県南東部に位置し、面積は約180.26km²、人口は約2万2千人であり、一部地域が山村振興法の対象地となっている。</p> <p>近年では中山間地域を中心に人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線が令和元年に撤退するなど、地域公共交通のあり方に変化が生じている。しかし、中山間地域に住む方等にとっても安心して暮らせる地域づくりのために、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。高島町では、子どもたちの学童保育に係る移動も含め、幅広い世代から利用されるデマンド交通の運行を行っており、今後はJR高島駅を利用して訪れる町外の方(観光・ビジネス)に対しても利用拡大を図り、フィーダー系統としての機能を大いに果たすことを目指し、施策を進めるものである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名： 山形県(川西町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<ul style="list-style-type: none"> ・川西観光タクシー(有) ・(有)大京タクシー ・(有)みどりタクシー 	<ul style="list-style-type: none"> ・系統名:川西町デマンド型乗合交通 ・運行区間:町内全域 ・運賃:500円(片道) ・運行便:1日9便 ・運行方法:事前予約に応じ自宅等から目的地まで運行 	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用者数について、目標値を8,500人に改め運行を実施する。 ・利用者の外出機会創出に向けた事業周知を行い、利用者数の増加を目指す。 ・アンケート調査を継続し、当日予約を開始したことによる満足度を図る。 ・アンケート調査により潜在的ニーズを調査する。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用者数について、目標値を改めたことや、当日予約の実施により、利用者が増え、目標達成率が上がった。 ・町報7月号において公共交通の特集を実施し、利用促進を図った。 ・アンケート調査時に、アンケート表と共にデマンド利用方法のご案内を入れ、既存の利用者にも当日利用が可能となった旨を丁寧に情報発信した。 ・アンケート調査における満足度が85.9%となり、前回(79.5%)よりも6.4%高く、当日予約実施による満足度の向上が見られた。 ・アンケート調査の中に、例年多数の意見が出されている「町外への外出」に関する項目を入れ、デマンドによる町外移動のニーズを調査した。 	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>年間延べ利用者数 【目標値】8,500人 【実績値】8,118人 【達成率】95.5%</p> <p>コロナウイルス感染症の5類感染症への位置付けや当日予約実施による利用者数の増加が考えられ、適切な目標値設定により達成率が大幅に上がったと思われる。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">A</p> <p>川西町の負担額(令和4年度) 【目標値】10,312千円 【実績値】7,753千円 【達成率】133.0%</p> <p>当日予約開始による利用者数微増や、フィーダー補助金による補助により、町の持ち出し額が減少した。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">C</p> <p>川西町から見た運行経費における利用者との負担割合(令和4年度) 【目標値】50.0% 【実績値】67.1% 【達成率】74.5%</p> <p>利用者数が増加していることから利用料金も増加しているが、委託料増加により現在まで積み上げられた運行経費は大きく、目標達成には至らなかった。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">A</p> <p>利用者から満足しているとアンケートで回答があった割合(令和5年度) 【目標値】80.0% 【実績値】85.9% 【達成率】107.4%</p> <p>当日予約の実施により満足度が向上したことで、目標達成ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関連部署との連携や、SNS・町報等を活用して事業を周知し、利用者の増加を目指す。 ・アンケート調査を継続して行い、利用者の満足度を図るとともに、アンケート結果から得た住民の声を事業に反映する方法について検討する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(川西町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>川西町は県南部にある置賜地域のほぼ中心に位置し、総面積は166.60km、人口は約14,000人で、豊かな森林からなる「丘陵部」と広大な田園からなる「平坦部」で構成され、町北部には高度な医療機能を有する公立置賜総合病院がある。</p> <p>本町の公共交通機関として、JR米坂線(町内3駅)、フラワー長井線(町内1駅)、タクシー(町内3事業所)、デマンド型乗合交通があるが、隣接する米沢市へ向かう民間路線バスが撤退するなど公共交通の維持・存続が問題である。モータリゼーションにより車を使う生活が一般的になっているが、超高齢化社会を迎え、高齢者ドライバーによる重大事故が社会問題となっている中で、安心安全な交通手段の確保が必要である。</p> <p>町民の安全安心な足を確保するため、デマンド型乗合交通の運行を継続するとともに、利用状況の検証や町民の意見をもとに利便性向上に向けた検討を行っていく。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(小国町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
株式会社小国タクシー 金目線(病院前～金目)		<p>【前回の評価結果】 目標値の達成には至らなかったものの、運行目的である通院や買い物等、地域住民の日常生活に不可欠な移動手段が確保されたことからB評価とした。</p> <p>【評価結果の反映状況】 住民の足としてデマンドタクシーの運行を継続するため、利用方法の説明や運転免許証自主返納者等への料金免除制度の周知活動を実施した。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>年間利用者数(目標値 230人以上) 期間中の実績 230人(達成率100%/A評価) 収支率(目標値 6.0%以上) 期間中の実績 9.72%(達成率162%/A評価) 小国町負担額(目標値 400,000円) 期間中の実績 169,201円(達成率236.4%/A評価)</p> <p>(評価理由) 補助要件である1運行当たり2人未満(1.72人)及び運行割合30%以上(22.00%)を満たしていないため、C評価とした。</p>	<p>運行ニーズは有るが(R3 208人、R4 203人、R5 230人)、沿線の人口減少によって1便当たりの利用人数の低調(R3 1.56人、R4 1.62人、R5 1.72人)、運行割合の低下(R3 45.00%人、R4 42.00%、R5 22.00%)がある。</p> <p>当路線の運行エリアのおよそ半分が小国町営バス北部線(自家用有償旅客運送)との並行運行区間となっていることから、路線統合を初めとした運行方法の抜本的見直しを検討したい。</p>
株式会社小国タクシー 足中線(病院前～樽口)	<p>金目線、足中線、白沼線及び東部線の沿線は、公共交通機関の利用に支障を来す地域であり、地域住民の生活の足を確保・維持していくために、次の事業を展開する。</p> <p>・利用拡大に向けた活動として、広報誌や町内イベントでの周知広報活動を実施する。</p>	<p>【前回の評価結果】 一部の目標の達成には至らなかったものの、運行目的である通院や買い物等、地域住民の日常生活に不可欠な移動手段が確保されたことからB評価とした。</p> <p>【評価結果の反映状況】 住民の足としてデマンドタクシーの運行を継続するため、利用方法の説明や運転免許証自主返納者等への料金免除制度の周知活動を実施した。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>年間利用者数(目標値 150人以上) 期間中の実績 249人(達成率166.0%/A評価) 収支率(目標値 9.0%以上) 期間中の実績 6.63%(達成率73.7%/C評価) 小国町負担額(目標値 200,000円) 期間中の実績 324,677円(達成率61.6%/C評価)</p> <p>(評価理由) 運行目的である通院や買い物等、地域住民の日常生活に不可欠な移動手段が確保されたが、一部目標の達成には至らなかったためC評価とした。 年間利用者数のA評価に関しては、定期利用者の定着と設定便数がバランスが保たれていたことが要因と推測される。 収支率及び当町負担額のC評価については、物価高による運行コスト増加、利用助成のための実施している高齢者の料金半額対象者が多く利用していることが要因である。</p>	<p>デマンドタクシー沿線地域の中では、唯一高齢化率が60%に達している地域であり、運転に不安を感じる利用者に定着している交通手段となっている。</p> <p>ここ3年間の利用者数は近年増加傾向(R3 185人、R4 229人、R5 249人)であるが、沿線地域の人口減少や高齢化を踏まえると、いずれは利用者数の頭打ちが予想される。このためデマンドタクシーの利用の仕方等のPRを継続して実施することで、新規利用者の開拓や継続した利用に繋げていく。</p> <p>昨今の燃料費等の物価高により、運行コストが増高し、収益率の悪化や当町負担額が増加している。安全運行を確保しつつ、極端な運行コスト増加に繋がらないような工夫を業務受託事業者とともに考えていきたい。</p>
株式会社小国タクシー 白沼線(病院前～白子沢)	<p>・日常生活に浸透する取り組みとして、利用説明会を開催して、新規利用のきっかけ作りを行う。 また高齢者の利用料金補助を継続して行い、利用者の負担軽減を図る。</p>	<p>【前回の評価結果】 一部の目標の達成には至らなかったものの、運行目的である通院や買い物等、地域住民の日常生活に不可欠な移動手段が確保されたことからB評価とした。</p> <p>【評価結果の反映状況】 住民の足としてデマンドタクシーの運行を継続するため、利用方法の説明や運転免許証自主返納者等への料金免除制度の周知活動を実施した。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>年間利用者数(目標値 910人以上) 期間中の実績 790人(達成率86.8%/B評価) 収支率(目標値 20.00%以上) 期間中の実績 7.17%(達成率35.9%/C評価) 小国町負担額(目標値 700,000円) 期間中の実績 787,111円(達成率88.9%/B評価)</p> <p>(評価理由) 目標の達成には至らなかったものの、運行目的である通院や買い物等、地域住民の日常生活に不可欠な移動手段が確保されたことからB評価とした。</p>	<p>運行便数は概ね横ばい(R4 289便、R5 283便)に推移しているものの、利用者は減少傾向(R4 891人、R5 790人)であり、利用の分散傾向は続いている。沿線地域の人口減少は継続すると予測されるが、デマンドタクシーの利用の仕方等のPRを継続して実施することで、新規利用者の開拓や継続した利用に繋げていく。</p> <p>昨今の燃料費等の物価高により、運行コストが増高し、収益率の悪化や当町負担額が増加している。安全運行を確保しつつ、極端な運行コスト増加に繋がらないような工夫を業務受託事業者とともに考えていきたい。</p>
株式会社小国タクシー 東部線(病院前～上大石沢)		<p>【前回の評価結果】 利用者数及び収支率の実績が目標値を大幅に下回ったため、C評価とした。 要因としては、令和4年4月の小学生の通学体制の見直しによって、通学需要が無くなり、利用者の大幅な減少があったこと、定期利用の定着はあるが、利用料金の減免対象であるため収支改善に繋がりがづらい状況があることが推察される。</p> <p>【評価結果の反映状況】 住民の足としてデマンドタクシーの運行を継続するため、利用方法の説明や運転免許証自主返納者等への料金免除制度の周知活動を実施した。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>年間利用者数(目標値 3,100人以上) 期間中の実績 1,088人(達成率35.1%/C評価) 収支率(目標値 12.00%以上) 期間中の実績 5.23%(達成率43.6%/C評価) 小国町負担額(目標値 1,500,000円) 期間中の実績 2,737,844円(54.8%/C評価)</p> <p>(評価理由) 補助要件である1運行当たり2人未満(1.71人)を満たしていないため、C評価とした。</p>	<p>当路線は、定期利用者や沿線の高校関係者の利用定着があるものの、利用便が分散傾向(R4 実動703便/2.72人、R5 実動638便/1.71人)である。また利用料金の減免対象者が多く、実動便数に対して収支率が低く、町負担額が増加している。(R4 収支率4.39%/1,377,248円、R5 収支率5.23%/負担額2,737,844円)</p> <p>今後もこれらの利用傾向は継続すると推察されるが、引き続きデマンドタクシーの利用の仕方等のPRを継続して実施することで、新規利用者の開拓や継続利用の定着に繋げ、状況の改善を図りたい。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(小国町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>小国町は、山形県西南端の新潟県との県境に位置し、南北の飯豊連峰・朝日連峰を含め、四方を山々に囲まれており、737.56平方キロメートルという広大な町土を有している。町の主要公共施設、病院、金融機関、商店等は、中心部に集中していることから、周辺部に点在する多くの集落での生活を維持するため、移動手段としてマイカーが必需品である。</p> <p>しかしながら、急速な高齢化の進行と冬季間の厳しい気象状況の地域から、マイカーを利用しづらい高齢者や移動交通手段を有しない住民を中心として、公共交通へのニーズが高まっている。ニーズに対応するべく、効果的、効率的な公共交通サービスを展開し、当町の望ましい公共交通体系の構築に向け各種事業を展開している。</p> <p>人口減少による過疎化と少子高齢化の急速な進行に伴い、小国町営バスの利用者は減少し、運行本数の削減が迫られている状況にある。このような中で、特に利用者が減少しており、過疎化、少子高齢化の著しい地域の3路線について、デマンド型乗合タクシーの運行によって、地域住民の通院や買い物といった日常生活に必要な地域内交通手の確保維持を図る。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(白鷹町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)白鷹タクシー (株)朝日観光タクシー	白鷹町デマンドタクシー (全町線)	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的にダイヤ改正や利用講習会等のPRを実施するため地域のニーズをしっかりと把握するとともに、新規需要の掘り起こしやさらなる利用促進が図られることを期待します。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> PRのため、コミュニティセンターと連携した高齢者のデマンドタクシー利用講習会を開催した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①年間利用者数 (2事業者合算で) 【目標値】年間6,000人 【実績値】年間6,197人 【達成率】103.3% 本事業は10年以上続いているものであるため、住民の利用が定着しており、ある程度の達成率を確保できている。</p> <p>A</p> <p>②収支率 (株)白鷹タクシー 【目標値】20%以上 【実績値】17.75% 【達成率】88.8% (株)朝日観光タクシー 【目標値】20%以上 【実績値】18.00% 【達成率】90.0% 本事業は10年以上続いているものであるため、住民の利用が定着しており、ある程度の達成率を確保できている。</p> <p>B</p> <p>③白鷹町負担額 (2事業者合算で) 【目標値】10,000千円 【実績値】10,506千円 【達成率】95.2% 本事業は10年以上続いているものであるため、住民の利用が定着しており、ある程度の達成率を確保できている。</p> <p>B</p>	・PRのため、コミュニティセンターと連携した高齢者のデマンドタクシー利用講習会をR5に開催。継続して実施する。
(株)白鷹タクシー (株)朝日観光タクシー	置賜病院線	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的にダイヤ改正や利用講習会等のPRを実施するため地域のニーズをしっかりと把握するとともに、新規需要の掘り起こしやさらなる利用促進が図られることを期待します。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> PRのため、コミュニティセンターと連携した高齢者のデマンドタクシー利用講習会を開催した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>①年間利用者数 (2事業者合算で) 【目標値】年間200人以上 【実績値】年間166人 【達成率】83.0% 運行2年目に伴い周知が広がり、利用者数は伸びた。</p> <p>B</p> <p>②収支率 (株)白鷹タクシー 【目標値】11%以上 【実績値】5.31% 【達成率】48.3% (株)朝日観光タクシー 【目標値】11%以上 【実績値】5.35% 【達成率】48.6% 利用者は一定数伸びたものの目標には届かず、収益(利用料金)を確保できなかった。利用方法等PR対策をさらに強化する必要がある。</p> <p>C</p> <p>③白鷹町負担額 (2事業者合算で) 【目標値】4,582千円 【実績値】2,221千円 【達成率】206.3% 運行実績に対する支払としているため、運行が少なく負担額が小さくなっている。</p> <p>A</p>	・PRのため、コミュニティセンターと連携した高齢者のデマンドタクシー利用講習会をR5に開催。継続して実施する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(白鷹町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>白鷹町は山形県南部である置賜地域に位置し、町の面積は157.71km²で、東西に17km、南北に16km、県下25番目の広さを有している。このうち約65%は森林で占められている。人口は12,890人(R2国勢調査)で、町の中心地である荒砥まではどの集落からも車で約15分以内の時間距離にあり、平成4年に国道348号が開通したことにより県都山形市まで25分の時間的距離となっている。</p> <p>民間バスは廃線や減便が進んでいるものの、本町を經由し山形市と長井市を結ぶ路線が残っている。</p> <p>町では、住民混乗型のスクールバス、町内全域のデマンドタクシーを運行し、特に子供や高齢者などにとって重要な交通手段であることから、福祉施設や医療機関、学校などへ通う足としての確保を図り生活と福祉に配慮した公共交通機関のネットワーク形成に努めている。</p> <p>一方、地域交通の重要な足であるフラワー長井線の継続的な運行を図るため、運行会社である山形鉄道(株)に対する財政支援などによる経営改善の支援を引き続き行っていく方針。</p> <p>このように、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(飯豊町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
めざみ交通(株)	飯豊町予約型乗合タクシー(まちなか線)	<p>【前回の評価結果】効果的に利用促進策やダイヤ改正を実施するため地域のニーズをしっかりと把握するとともに、新規需要の掘り起こしやさらなる利用促進が図られることを期待。</p> <p>【評価結果の反映状況】事業を運営する社会福祉協議会において本事業等に関する調査を実施した結果を基に利用料金、運行区域の変更を協議中。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>○まちなか線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 評価:C 【目標値】6,700人/年 【実績値】5,312人/年 【達成率】79.28% ・収支率 評価:C 【目標値】24.5%以上 【実績値】12.2% 【達成率】49.79% ・町負担額 評価:C 【目標値】9,563千円 【実績値】13,322千円 【達成率】71.78% <p>3路線のうち最も利用者数の多い主要路線であるが、前年と比較し10%ほど利用者数が減少し、車種・台数の違いから町負担額の大きい路線でもあることからC評価とする。</p>	<p>運営事業者による調査により、「自分が使っているのかわからない」「使い方がわからない」という声が一定数あることが報告されている。このことから、まずはデマンド交通の利用についてわかりやすい広報資料を作成し運営事業者と周知するとともに、引き続き医療機関への通院、買い物のための移動手段としての定着、拡大を図ることで全路線において利用者の増加を目指す。また、運行区域の拡大や利用料金の低減など利便性の向上についても検討する。</p> <p>中津川線においては中津川地区の人口減少が顕著であり、当面は運行体制を維持しながら、町内行事等におけるまちエリアと中津川エリア相互の利用など運行割合の向上について検討する。</p>
	飯豊町予約型乗合タクシー(中津川線)		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>○中津川線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 評価:C 【目標値】330人/年 【実績値】221人/年 【達成率】61.38% ・収支率 評価:C 【目標値】24.5%以上 【実績値】12.2% 【達成率】49.79% ・町負担額 評価:B 【目標値】1,524千円 【実績値】1,731千円 【達成率】88.04% <p>前年と比較し30%近く利用者数が減少した。また、運行割合が30%に満たず補助対象外となったためC評価とする。</p>	
	飯豊町予約型乗合タクシー(まちエリア線)		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>○まちエリア線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 評価:B 【目標値】3,300人/年 【実績値】2,785人/年 【達成率】84.39% ・収支率 評価:C 【目標値】24.5%以上 【実績値】12.2% 【達成率】49.79% ・町負担額 評価:B 【目標値】3,213千円 【実績値】3,997千円 【達成率】80.38% <p>前年と比較した利用者数は+2%とわずかに増加したが、目標値の達成には至らなかった。利用者数の増加傾向と、利用者数及び町負担額の状況からB評価とする。</p>	

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(飯豊町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	飯豊町は山形県の南西部に位置し、面積 329.41km ² 、人口6,414人(令和5年11月末現在)で、総面積の8割以上を山林が占める緑豊かな町です。本町は、人口減少・少子高齢化が進行しており、交通空白地帯の解消と公共交通の利便性向上を目的に、高齢者や障がい者など交通弱者の方の暮らしを支える身近な足、医療機関への通院や買い物など移動手段を確保する社会福祉を主軸とした地域公共交通システムとして、戸口から戸口までを結ぶデマンド型乗合タクシーを運行している。町民の方の暮らしを支える生活交通手段として定着しているものの、利用者のニーズに応じた利用しやすい運行など利便性の向上と、将来にわたる持続的で効果的な地域公共交通に向けた取り組みを計画的に進めていく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(三川町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
庄交ハイヤー株式会社	三川町デマンド型交通 運行区域:町内全域	<p>【前回の評価結果】 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。今後は、物価や人件費等の高騰に伴う負担増に対する財源確保について、より一層努める。</p> <p>【評価結果の反映状況】 SNSやHPでの広報周知等に注力したものの、利用者数が減少しており、原油高等の影響等とも併せ、負担額も増加した。一方で、委託料増額及びその財源確保により収支率は向上している。</p>	A 一部改善が必要な部分もあるが、事業が計画に位置付けられたとおり、概ね適切に実施された。	<p>B デマンド交通への三川町負担額 【目標値1】 4,982,384円 【実績値1】 5,319,050円 【達成率1】 93.2%</p> <p>利用者の減少に加え、原油及び人件費等高騰の影響により、負担額が増加した。</p> <p>B デマンド交通利用者数 【目標値2】 2,032人 【実績値2】 1,944人 【達成率2】 95.7%</p> <p>事業周知に努めたが、目標値を下回る利用実績となった。</p> <p>A デマンド交通収支率 【目標値3】 4.1% 【実績値3】 6.4% 【達成率3】 156.1%</p> <p>町委託料の財源確保により、収支率は向上している。</p>	今後はさらに多様な事業周知を展開し、利用者数の確保を図るとともに、利用者アンケート等により、時間帯や便数の見直しなどを積極的に実施するほか、原油や人件費高騰などの社会情勢の動向を注視しながら、より効率的な運用となるよう弾力的な事業推進に努める。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(三川町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>三川町は山形県の北西部、庄内平野のほぼ中央に位置し、面積は33.22km²、人口は令和4年9月末において、7,228人となっている。</p> <p>本町においても人口減少・高齢化の進展は地域公共交通に大きな影響を及ぼしており、民間バス路線において運行形態や便数などの再編を進めているものの、新型コロナウイルス感染症や原油高騰等の要因も重なり、地域公共交通の安定した運営には課題が多い状況にある。しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型)を組み合わせた生活交通ネットワークを構築しており、今後は持続可能で、より利便性の高い交通手段や方法の導入のための検討を行っていく必要がある。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 6 年 1 月 30 日

協議会名: 山形県(庄内町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
庄内町	立谷沢余目線(中村経由)	<p>【前回の評価結果】 運行ダイヤの見直しにより利用者が直近の実績(115人)より174%増加している。さらなる利用拡大を目指し、出前講座などを実施していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 免許返納の呼びかけと合わせた集落への講座を企画している。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間230人以上 【実績値】年間134人 【達成率】58.3%(C評価) 利用者はコロナ禍前と同じ水準であるので、目標数値が高すぎたと思われる。</p> <p>②収支率 【目標値】0.9%以上 【実績値】1.3% 【達成率】144.4%(A評価) コロナ禍で減少していた利用者が増加したため。</p> <p>③町負担額 【計画時】3,820千円 【実績値】4,052千円 【達成率】94.3%(B評価)</p> <p>【路線としての評価は次のとおり決定】 Aが2つ以上>A評価、 Cが2つ以上>C評価 その他>B評価</p>	新規利用者の獲得に努めるとともに、新規利用者の獲得に努めるとともに、コロナ禍での落ち込みの回復状況を見極めながら適正な数値への見直しを行う。また、JR余目駅との接続が一部不便になっているため改善を図る。
	立谷沢余目線(鉢子経由)	<p>【前回の評価結果】 運行ダイヤの見直しにより、立谷沢余目線(鉢子経由)の便が減少したが、直近の実績(315人)より微増している状況である。目標値について、適正な数値(350人以上)への見直しを行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 目標値について、コロナ禍での落ち込みの回復状況を見極めながら適正な数値への見直しを行うこととした。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間620人以上 【実績値】年間489人 【達成率】78.9%(C評価) 利用者はコロナ禍前と同じ水準であるので、目標数値が高すぎたと思われる。</p> <p>②収支率 【目標値】0.9%以上 【実績値】1.3% 【達成率】144.4%(A評価) コロナ禍で減少していた利用者が増加したため。</p> <p>③町負担額 【計画時】10,329千円 【実績値】6,881千円 【達成率】150.1%(A評価) 老朽化したバス車庫の廃止、時刻表改定を見込んでいたが実施しなかった等の理由による。</p> <p>【路線としての評価は次のとおり決定】 Aが2つ以上>A評価、 Cが2つ以上>C評価 その他>B評価</p>	新規利用者の獲得に努めるとともに、コロナ禍での落ち込みの回復状況を見極めながら適正な数値への見直しを行う。また、JR余目駅との接続が一部不便になっているため改善を図る。
	小出新田循環線(小出新田循環線3便)	<p>【前回の評価結果】 目標値以上に使用料が半額となる満65歳以上70歳未満の者の利用があったため、目標を達成しているが、利用者の年齢により実績が変動することから引き続き利用拡大の周知を図っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 路線全体がわかりやすい路線図を作成するなどし周知を図っている。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間34人以上 【実績値】年間48(1334)人 【達成率】140.7%(A評価) 利用者はコロナ禍で落ち込んでいた利用者が回復したため。</p> <p>②収支率 【目標値】0.2%以上 【実績値】0.1% 【達成率】50%(C評価) 利用者は回復したものの、そもそも利用者が少ないため、収入が少なかったため。</p> <p>③町負担額 【計画時】2,527千円 【実績値】2,482千円 【達成率】101.8%(A評価)</p> <p>【路線としての評価は次のとおり決定】 Aが2つ以上>A評価、 Cが2つ以上>C評価 その他>B評価</p>	引き続き新規利用者の獲得に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
庄内町	家根合循環線 (家根合循環線3便)	<p>【前回の評価結果】 目標値以上に使用料が半額となる満65歳以上70歳未満の者の利用があったため、目標を達成しているが、利用者の年齢により実績が変動することから引き続き利用拡大の周知を図っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 町営バス全路線や接続がわかりやすい路線図を作成するなどし周知を図っている。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間40人以上 【実績値】年間39人 【達成率】97.5%(B評価)</p> <p>②収支率 【目標値】0.2%以上 【実績値】0.2%(A評価)</p> <p>③町負担額 【計画時】2,930千円 【実績値】2,920千円(A評価)</p> <p>【路線としての評価は次のとおり決定】 Aが2つ以上>A評価、 Cが2つ以上>C評価 その他>B評価</p>	引き続き新規利用者の獲得に努める。
	狩川循環線 (狩川循環線3便)	<p>【前回の評価結果】 新規利用者の獲得に努めるとともに、70歳以上利用者が殆どであることから、利用者目標値の見直し(20人以上)を行う。</p> <p>【評価結果の反映状況】 目標値について、コロナ禍での落ち込みの回復状況を見極めながら適正な数値への見直しを行うこととした。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間41人以上 【実績値】年間7人 【達成率】17.1%(C評価) コロナ禍以降、利用者が回復していない。新規の利用者が現れていない。</p> <p>②収支率 【目標値】0.2%以上 【実績値】0.0% 【達成率】0.0%(C評価) 利用者がいないため収入がない。</p> <p>③町負担額 【計画時】3,068千円 【実績値】2,672千円 【達成率】114.8%(A評価)</p> <p>【1運行当たり2人未満のためC評価】 利用者の減少が急激に進んでいることに起因する。</p>	新規利用者の獲得に努めるとともに、利用者が極端に少ない路線であるため、利用のきっかけづくりとして路線周辺集落を対象に出前講座を計画的に実施する。
	平岡循環線 (平岡循環線3便)	<p>【前回の評価結果】 利用者が最も少ない路線であるため、利用のきっかけづくりとして路線周辺集落を対象に出前講座を計画的に実施する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 免許返納の呼びかけと合わせた集落への講座を企画している。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間16人以上 【実績値】年間69人 【達成率】431.3%(A評価) コロナ禍以前の水準を超えて利用者が大きく増加している。60代の利用者が増加した。</p> <p>②収支率 【目標値】0.1%以上 【実績値】0.2% 【達成率】200.0%(A評価) 利用者が増加し収入が増えたため。</p> <p>③町負担額 【計画時】2,343千円 【実績値】2,277千円 【達成率】102.9%(A評価)</p> <p>【1運行当たり2人未満のためC評価】 利用者は増加しているものの、利用者の減少が進みすぎたため1運行あたり2人には遠く及ばない。</p>	新規利用者の獲得に努めるとともに、利用者が極端に少ない路線であるため、利用のきっかけづくりとして路線周辺集落を対象に出前講座を計画的に実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
庄内町	中心市街地循環線	<p>【前回の評価結果】 利用者3,381人のうち96%が満70歳以上等の無料の利用者であるため143人の実績となっている。一般利用者の拡大を目指し、広報掲載など利用案内の周知を図っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 町営バスの全路線や接続がわかりやすい路線図を作成するなどし周知を図っている。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間250人以上 【実績値】年間179(3,252)人 【達成率】71.6%(C評価) 年々利用者が増えているが、利用者がほとんどいない時間帯があったため。</p> <p>②収支率 【目標値】0.3%以上 【実績値】0.3% 【達成率】100.0%(A評価)</p> <p>③町負担額 【計画時】5,996千円 【実績値】5,858千円 【達成率】102.4%(A評価)</p> <p>【1運行当たり2人未満のためC評価】 利用者が増えつつあるが、時間帯によっては乗降者がほとんどおらず需要とのミスマッチがあると考えられる。</p>	スーパーへの買い物客の交通手段となっていることから、一般利用者の拡大を目指し、広報掲載など利用案内の周知を図っていく。
有限会社 立川タクシー	三ヶ沢狩川線	<p>【前回の評価結果】 利用者2,010人のうち70歳未満等の有料となる利用者が2人の輸送実績となっている。一般利用者の拡大を目指し、広報掲載など利用案内の周知を図っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 町営バスとの接続がわかりやすい路線図を作成するなどし周知を図っている。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間22人以上 【実績値】年間4(1,831)人 【達成率】18.2%(C評価) 利用者ほぼ全てが無料の利用者であったため。</p> <p>②収支率 【目標値】0.05%以上 【実績値】0.02% 【達成率】40.0%(C評価) 利用者ほぼ全てが無料の利用者であったため。</p> <p>③町負担額 【計画時】3,227千円 【実績値】2,907千円 【達成率】111.0%(A評価)</p> <p>【路線としての評価は次のとおり決定】 Aが2つ以上>A評価、 Cが2つ以上>C評価 その他>B評価</p>	一般利用者の拡大を目指し、広報掲載など利用案内の周知を図っていく。
有限会社 立川タクシー	出河原狩川線	<p>【前回の評価結果】 利用者823人全てが満70歳以上等の無料の利用者である。一般利用者の拡大を目指し、広報掲載など利用案内の周知を図っていく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 町営バスとの接続がわかりやすい路線図を作成するなどし周知を図っている。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間8人以上 【実績値】年間0(776)人 【達成率】0%(C評価) 利用者全てが無料の利用者であったため。</p> <p>②収支率 【目標値】0.05% 【実績値】0.0% 【達成率】0.0%(C評価) 利用者全てが無料の利用者であったため。</p> <p>③町負担額 【計画時】2,164千円 【実績値】1,595千円 【達成率】135.7%(A評価) 想定よりもデマンドタクシーの利用が減ったことによる。</p> <p>【路線としての評価は次のとおり決定】 Aが2つ以上>A評価、 Cが2つ以上>C評価 その他>B評価</p>	利用者全てが無料の利用者である。一般利用者の拡大を目指し、広報掲載など利用案内の周知を図っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
余目タクシー 有限会社	余目酒田線	<p>【前回の評価結果】 令和4年8月から2カ月間の実績から次のとおり目標値の見直しが必要と思われる。 【年間利用者数】年間1,500人以上 【収支率】20%以上 【町負担額】3,500千円</p> <p>【評価結果の反映状況】 令和4年8月に運行を始めた路線であるため運行実績に基づいて柔軟に目標値を検討していく。</p>	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	<p>①年間利用者数 【目標値】年間2,000人以上 【実績値】年間1,555人 【達成率】77.8%(C評価) 当初の想定よりも利用者がいなかったため。</p> <p>②収支率 【目標値】14% 【実績値】21.9% 【達成率】156.4%(A評価) 想定よりもデマンドタクシーの利用が減ったことによる。</p> <p>③町負担額 【計画時】6,020千円 【実績値】2,712千円 【達成率】222.0%(A評価) 想定よりもデマンドタクシーの利用が減ったことによる。</p> <p>【路線としての評価は次のとおり決定】 Aが2つ以上>A評価、 Cが2つ以上>C評価 その他>B評価</p>	当初の想定よりも伸び悩んでいるため、利用者目標値の見直し(1,500人以上)を行う。また、利用者の拡大を目指し、広報掲載など利用案内の周知を図っていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6 年 1 月 30 日

協議会名:	山形県(庄内町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>庄内町は山形県北西部、庄内地域のほぼ中央に位置し、南北に細長い形をしており、東西22.2km、南北38.9km、総面積は249.17km²、人口は19,763人(令和5年3月31日現在)となっている。</p> <p>近年では人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線の運行が1路線のみになる等、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、中でも、高齢者の足の確保を主たる目的とし、「域内の主要集落から、役場・総合病院等への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 山形県(遊佐町)地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
酒田合同自動車株式会社 酒田第一タクシー株式会社	【補足説明】 ・遊佐町デマンドタクシー	【前回の評価結果】 効果的にPR活動を実施するため地域のニーズをしっかりと把握するとともに、新規需要の掘り起こしやさらなる利用促進が図られることを期待する。 【評価結果の反映状況】 周知及び利用促進のため、デマンドタクシーのキャンペーンを2回実施した。キャンペーン内容としては、値段はそのままにして回数券の枚数を増やすというものである。キャンペーンについて広報誌への掲載等を行ったため、デマンドタクシー自体のPRにも繋がった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【目標値】 ①年間利用者数 10,000人以上 ②収支率 20.0%以上 ③町負担額 20,000千円 【実績値】 ①年間利用者数 8,439人 ②収支率 13.22% ③町負担額 11,501千円 【達成率】 ①84.4% 評価:B コロナなどの感染症を警戒しての外出自粛が続いている。また、主な利用者であった高齢者が施設に入居するなどして利用人数が減少したことも影響していると推察される。 ②66.1% 評価:C 利用者数の減少と、燃料費の高騰などの費用増加が重なったためと推察される。 ③173.9% 評価:A 達成できた。 ※路線としての評価は、各目標の評価を踏まえ以下により決定 Aが2つ以上:A評価、Cが2つ以上:C、その他:B	免許返納者だけでなく、運転に自信がない方にも利用してもらえるよう、広報誌を利用してデマンドタクシーの利用の仕方についてPRを行う。また、高齢者がいる世帯員の方にもPRするため福祉サイドとの連携を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月30日

協議会名:	山形県(遊佐町)地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	遊佐町は山形県最北部に位置し、面積は208.4km ² 、人口は12,719人の町である。当町では近年、高齢化が進行しており、交通弱者への対応が町の課題となっている。誰もが安定して移動することができるようにするためには、地域公共交通の継続した運行が必要であるにも関わらず、路線バスの廃止などによりますます移動が困難になっている状況である。そのような中で、遊佐町デマンドタクシーを運行することは、町民の安心および安定した生活につながるものである。また、高齢者が多いことから通院目的での利用が多く見られるが、町内の病院ではなく隣の市にある総合病院へ通院している者も多いため、町内のデマンドタクシーを利用して駅まで移動し、そこから隣の市へ移動する流れができています。町民の安定した生活を確保するために、今後もデマンドタクシー事業の継続が必要である。